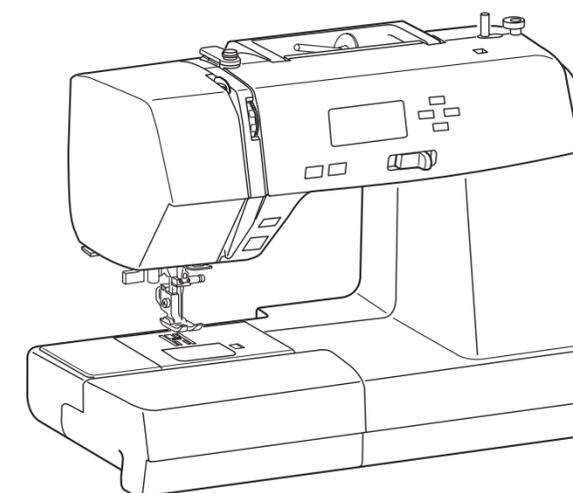


COMPUTER SEWING MACHINE

# HZL-L シリーズ

## 取扱説明書



JUKI 株式会社  
〒206-8551 東京都多摩市鶴牧 2-11-1

アフターサービスについて、ご相談、ご要望が  
ございましたら、お買い上げのお店、  
または下記のお客様相談室へお問い合わせください。

フリーダイヤル  
☎ 0120-677-601  
年末年始・夏季休暇・祝祭日を除く  
平日（月～金）9:00～12:00、13:00～17:45

Copyright © 2015 JUKI CORPORATION  
本書の内容を無断で転載、複写することを禁止します。

購入店名 後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼される時にお役に立ちます。

電話（        -        -        ）  
購入年月日：    年    月    日

### ⚠ 注意

安全にご使用していただくため、ご使用前に必ず  
この取扱説明書をお読みください。また、  
いつでもご覧になれますように保管してください。

## 安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆ お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆ このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

<b>危害・損害の程度を表わす表示</b>	 <b>警告</b> この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 <b>注意</b> この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
-----------------------	---	---

<b>本文中の図記号の意味</b>		△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)	<b>警告ラベル</b>		針の下に指を入れないでください。
		○記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)			手などへの障害の危険があります。
		●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)			

	<b>警告 感電・火災の原因になります。</b>
	ストーブ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 <b>禁止</b> ミシンの使用温度は5℃～35℃です。
	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。 <b>禁止</b>
	電源コードやフットコントローラーのコードを傷つけたり、加工したり、はさみ込んだり、たばねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物をのせたり、高温部に近づけたりしないでください。 <b>禁止</b> 電源コード、フットコントローラーのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
	<b>必ず実行</b> 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
	<b>必ず実行</b> 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	<b>必ず電源プラグを抜く</b> 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

	<b>注意 感電・火災・けがの原因になります。</b>
	お客様自身での分解はしないでください。 <b>分解禁止</b>
	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 <b>接触禁止</b>
	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。 <b>禁止</b>
	曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。 <b>禁止</b>

	<b>注意 感電・火災・けがの原因になります。</b>
	ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。 <b>禁止</b>
	ミシンの通風口はふさがらないでください。 <b>禁止</b>
	フットコントローラーの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。 <b>禁止</b>
	お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。 <b>注意</b>
	<b>必ず実行</b> ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。
	<b>必ず実行</b> プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
	<b>必ず実行</b> 針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
	<b>必ず実行</b> 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
	<b>必ず実行</b> 以下のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき
	<b>必ず電源プラグを抜く</b> 以下のことを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのお手入れを行うとき ・針、針板を交換するとき
	<b>必ず電源プラグを抜く</b> ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水にぬれたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

仕 様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	35W
外形寸法	幅 406mm × 奥行 182mm × 高さ 298mm
質量	5.6kg (本体)
使用針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	毎分 700 針 フットコントローラー使用時 毎分 700 針

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

### 修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より 1 年間です）およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

### 修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間で基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

### 無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとでも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
  - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
  - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

## 目次

◎各部のなまえ	2
◎標準付属品	3
◎基本操作	4～18
●電源のつなぎ方	4
★フットコントローラー使用のとき	4
★スタート/ストップボタン使用のとき	4
●速さの調節	5
★スピードコントロールつまみ	5
★フットコントローラー	5
●補助テーブル	5
●操作ボタンの主なはたらき	6～7
●押え上げ	8
●押えの外し方、付け方	8
●押えホルダーの外し方、付け方	8
●送り歯ドロップつまみ	9
●針の取りかえ方	9
●布に適した糸や針を選ぶ目安	9
●糸こまのセット	10
●補助糸立て棒の使い方	10
●ボビンの取り出し	10
●下糸巻き	11
●ボビンのセット	12
●上糸かけ	13
●糸通しの使い方	14
●下糸の引き上げ	15
●表示画面の説明	16
●模様を選び方	16
●早見板	16
●糸調子ダイヤル	17～18
◎実用ぬい	19～39
●直線ぬい	19～21
★ぬい始め	19
★返しぬい	19
★布の引き出し方	19
★糸切り	19
★ぬい方向の変更	19
★コーナーリングガイドの利用	20
★厚手の布端のぬい始め	20
●針板ガイドラインの利用	20
●針位置をかえるとき	21
●ぬい目長さをかえるとき	21
●自動返しぬい	22
●自動止めぬい	22
●三重ぬい	22
●伸縮ぬい	23
●粒ぬい (モデル 50 ステッチのみ)	23
●ジグザグぬい	24
★ぬい目の幅をかえるとき	24
★ぬい目長さをかえるとき	24
●ジグザグぬいのたち目かがり	25
●つくろいぬい	25
●ニットステッチ (モデル 50 ステッチのみ)	25
●かがりぬい	26
●ボタンホール	26～30
★ボタンホールの種類	26
★両かん止めボタンホールのぬい	27～29

★ぬい目の幅・長さをかえるとき	29
★ねむり穴ボタンホールのぬい	30
★はと目ボタンホールのぬい	30
●芯入り両かん止めボタンホール	31
●つくろいぬい (ダーニング) (モデル 50 ステッチのみ)	32
●かんぬき止め (モデル 50 ステッチのみ)	33
●アイレット (モデル 50 ステッチのみ)	34
●ファスナー付け	35～37
●まつりぬい	38
●ボタン付け	39
●ギャザー	39
◎飾りぬい	40～46
●パッチワーク	40
●シェルタック	40
●アップリケ	41
●フリンジ	42
●ドロンワーク	42
●クロスステッチ (モデル 50 ステッチのみ)	43
●ファゴティング	43
●スカラップ	44
●スモッキング	44
●密着模様ぬい (サテン)	45
●飾りぬい	45
●模様の形の整え方	46
◎ミシンのお手入れ	47
●かまと送り歯の掃除	47
●内がまと針板の組み付け	47
◎こんな表示が出た場合	48
●表示画面の対処方法	48
●ブザー音の種類	48
◎ミシンの調子が悪いときの直し方	49
●原因と直し方	49
模様一覧表	50～51
別売品のご案内	52

### 《お取り扱いについてのお願い》

#### ◇ご使用の前に

- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

#### ◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。  
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。

#### ◇修理・調整についてのご案内

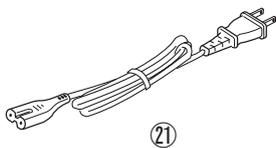
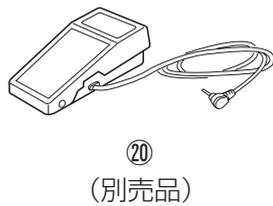
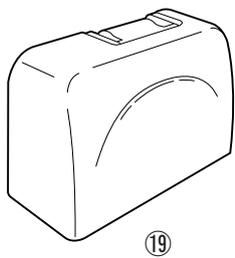
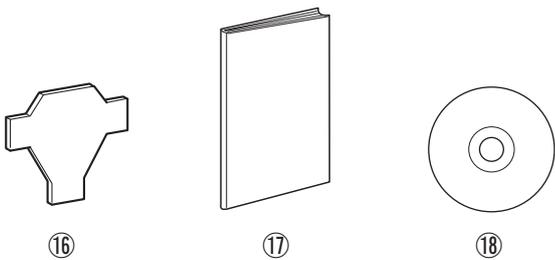
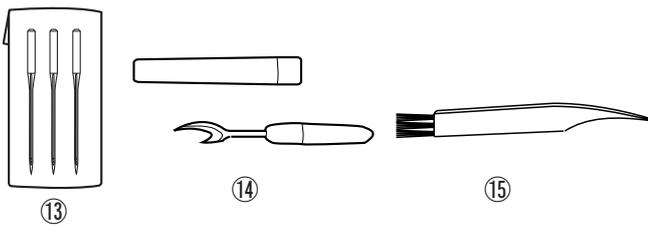
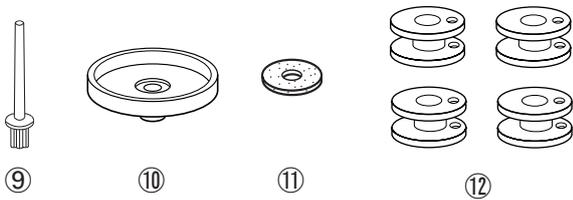
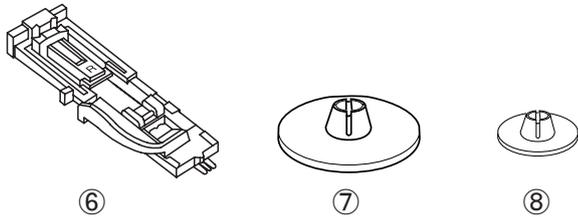
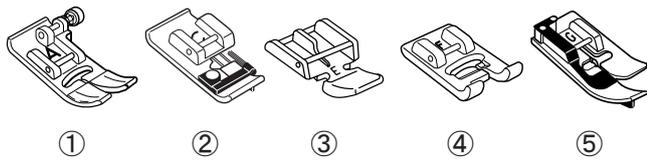
万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(49ページ)により点検・調整を行ってください。

## ◎各部のなまえ

- ① 補助テーブル
- ② 針板
- ③ 糸通しレバー
- ④ 糸切り
- ⑤ 面板
- ⑥ 天びん
- ⑦ 糸調子ダイヤル
- ⑧ 糸立て棒
- ⑨ 糸こま押え
- ⑩ 糸巻き軸
- ⑪ ボビン押え
- ⑫ 補助糸立て棒取り付け穴
- ⑬ 数値設定ボタン
- ⑭ カーソル移動ボタン
- ⑮ 表示画面
- ⑯ スピードコントロールつまみ
- ⑰ 早見板
- ⑱ 針上下移動ボタン
- ⑲ 止めぬいボタン
- ⑳ 返しぬいボタン
- ㉑ スタート/ストップボタン
- ㉒ 角板
- ㉓ 押え
- ㉔ 送り歯
- ㉕ 押えホルダー
- ㉖ 押えホルダー止めねじ
- ㉗ レバー
- ㉘ 針止めねじ
- ㉙ 針
- ㉚ 角板開放ボタン
- ㉛ プラグ受け
- ㉜ フットコンローラープラグ受け
- ㉝ 電源スイッチ
- ㉞ はずみ車
- ㉟ 手さげハンドル
- ㊱ 糸巻き糸案内
- ㊲ 糸案内体
- ㊳ 押え上げ
- ㊴ ボタンホール切りかえレバー
- ㊵ フリーアーム
- ㊶ 送り歯ドロップつまみ
- ㊷ 送り調節ねじ

※製品改良のため、部品の形状や仕様を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

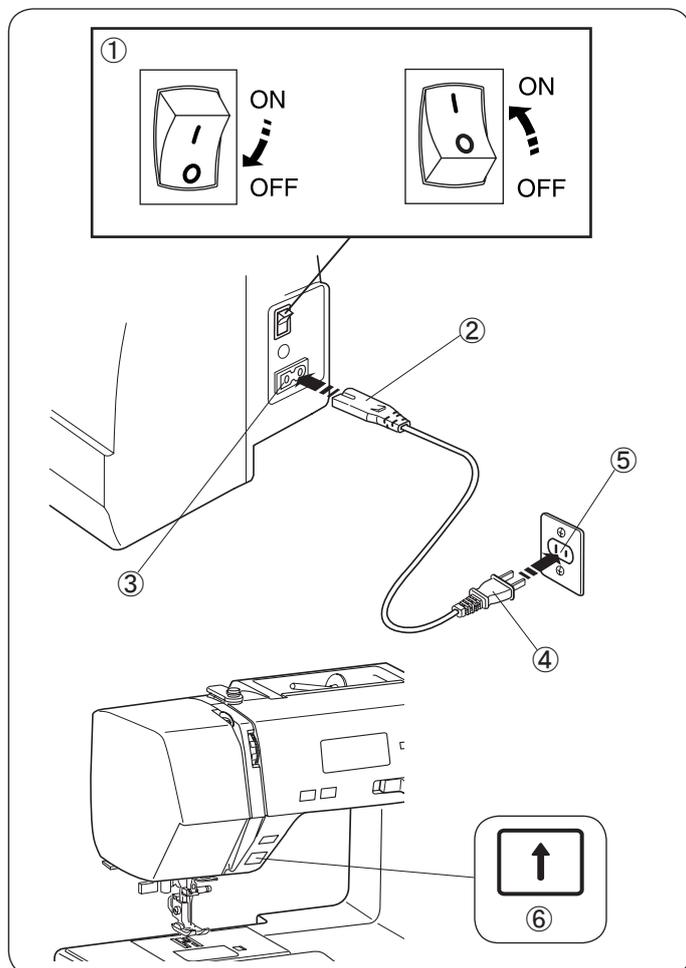
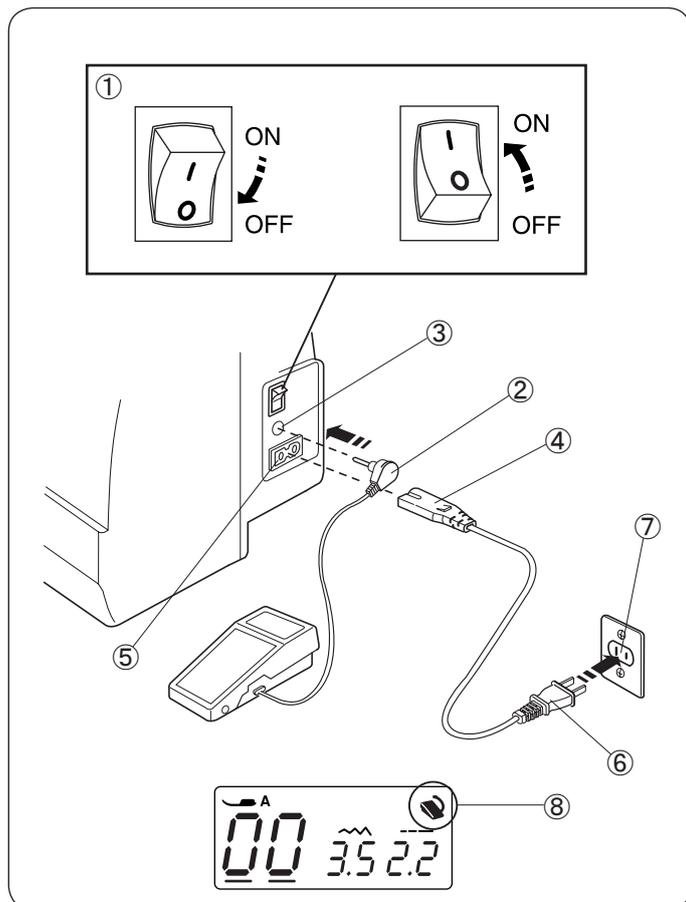
## ◎標準付属品



- ① 基本押え A  
※ミシンの押えホルダーに付いています。
- ② たち目かがり押え C
- ③ ファスナー押え E
- ④ サテン押え F
- ⑤ まつりぬい押え G
- ⑥ ボタンホール押え R
- ⑦ 糸こま押え (大)  
※ミシンの糸立て棒に付いています。
- ⑧ 糸こま押え (小)
- ⑨ 補助糸立て棒
- ⑩ 糸こま受け台
- ⑪ フェルト
- ⑫ ボビン (4 個)  
※内 1 個はミシンの内がまに入っています。
- ⑬ 針
- ⑭ シームリッパー
- ⑮ ミシンブラシ
- ⑯ ドライバー
- ⑰ 取扱説明書
- ⑱ 説明 DVD
- ⑲ ミシンカバー
- ⑳ フットコントローラー  
※別売品になります。
- ㉑ 電源コード

## ◎基本操作

### ●電源のつなぎ方



### ⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因になります。

### ★フットコントローラー使用のとき

※フットコントローラーは、別売品になります。

電源スイッチを「OFF」(切) にします。

フットコントローラープラグをフットコントローラープラグ受けに差し込みます。

電源コードのプラグをプラグ受けに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源スイッチを「ON」(入) にします。

- ① 電源スイッチ
- ② フットコントローラープラグ
- ③ フットコントローラープラグ受け
- ④ プラグ
- ⑤ プラグ受け
- ⑥ 電源プラグ
- ⑦ コンセント
- ⑧ フットコントローラー表示 (点灯)

※ フットコントローラーを接続しているあいだは、表示画面にフットコントローラー表示が点灯しています。

### ★スタート/ストップボタン使用のとき

電源スイッチを「OFF」(切) にします。

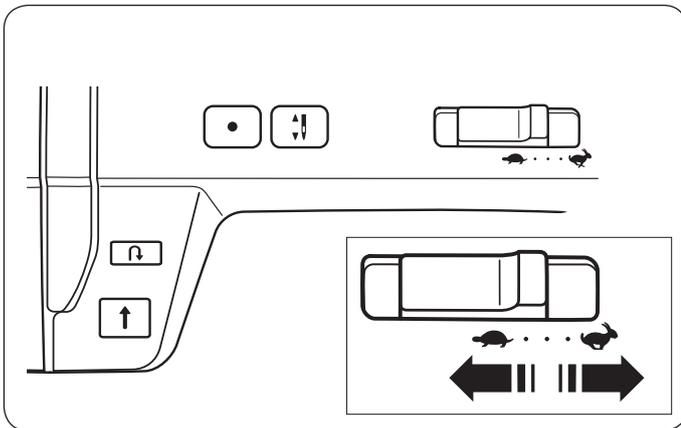
電源コードのプラグをプラグ受けに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源スイッチを「ON」(入) にします。

- ① 電源スイッチ
- ② プラグ
- ③ プラグ受け
- ④ 電源プラグ
- ⑤ コンセント
- ⑥ スタート/ストップボタン

※ 電源スイッチを入ると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。

※ フットコントローラーを接続しているときには、スタート/ストップボタンは使用できません。



## ●速さの調節

ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコントローラーで調節します。

### ★スピードコントロールつまみ

スピードコントロールつまみは、スタート/ストップボタン使用時のぬう速さを調節できます。つまみの位置が右側になるほど速くなります。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱい踏み込んだときの最高速度を調節できます。

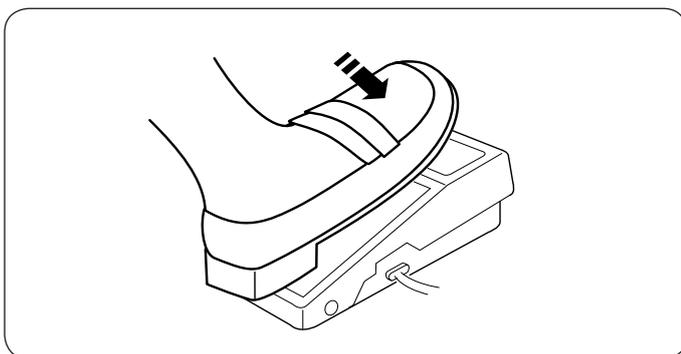
### ★フットコントローラー

※フットコントローラーは、別売品になります。

フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節できます。

- ・深く踏む→速くなる。
- ・浅く踏む→遅くなる。

※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側の位置（最高速）にして、踏みかげんで調節してください。



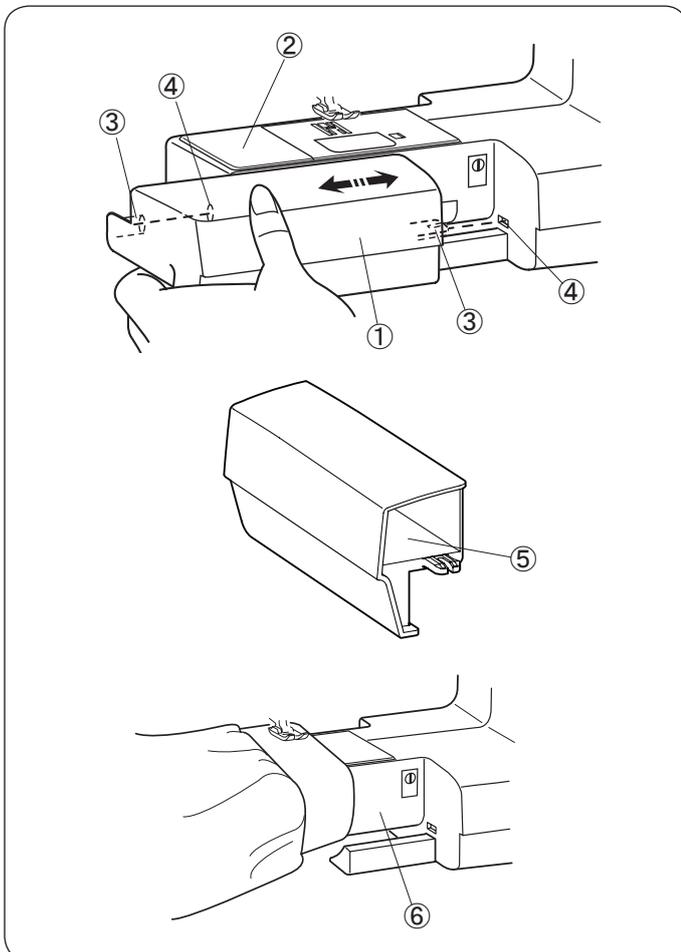
## ●補助テーブル

### 【補助テーブルの外し方】

補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。

※ 補助テーブルを取り付けるときは、フリーアームにそわせ、ピンを本体の穴に入れて取り付けます。

- ① 補助テーブル
- ② フリーアーム
- ③ ピン
- ④ 本体の穴



### 【小物の収納】

補助テーブルを開けると、押え等の小物が収納できます。

- ⑤ 小物入れ

### 【フリーアームの使い方】

そでぐちやすそなどのぬい、およびふくろ物のくち端の始末に利用します。

- ⑥ フリーアーム

## ●操作ボタンの主なはたらき

### ①スタート/ストップボタン

ボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてから、スピードコントロールつまみでセットした速さになります。もう一度押すとミシンは止まります。(通常は、針が上の位置で止まります。)

※ スタートおよびストップのとき、ボタンを押し続けているあいだ(手をはなすまで)は、ミシンは低速で動きます。

※ フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップボタンは使用できません。

### ②返しぬいボタン

#### 【運転中の返しぬい】

模様 No.00 、01 、10 (07) 、11(08)  は、ぬっている途中でボタンを押すと、押しているあいだは返しぬいをします。

その他の模様の場合は、ボタンを押すとその位置で止めぬいをして自動的に止まります。

※ ( ) 数字は、モデル 20 ステッチの模様 No. です。

#### 【停止中の返しぬい】

##### (フットコントローラーを接続していないときのみ)

模様 No.00 、01 、10 (07) 、11(08)  は、ミシンが動いていない状態で返しぬいボタンを押すと、押しているあいだは返しぬいをし、指をはなすと止まります。

※ 模様 No.02 、03 、08 、09  は、特殊な使い方になります。

※ 模様 No.08、09 は、モデル 50 ステッチの模様です。

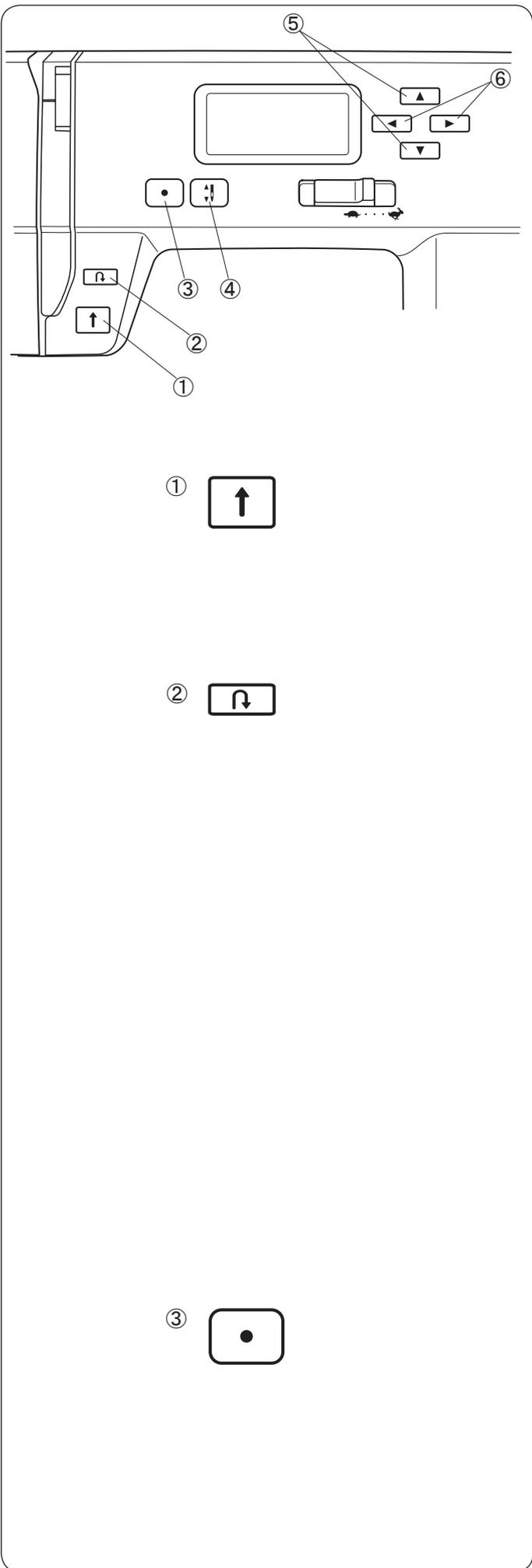
### ③止めぬいボタン

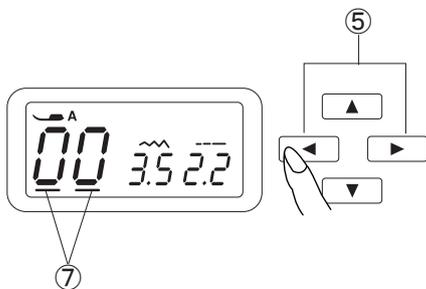
模様 No.00 、01 、10 (07) 、11(08)  は、ボタンを押すとその位置で止めぬいをして自動的に止まります。

その他の模様の場合は、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、止めぬいをして自動的に止まります。

※ ( ) 数字は、モデル 20 ステッチの模様 No. です。

※ ぬう前にボタンを押しておく、模様を1つだけぬって自動的に止まります。





#### ④針上下移動ボタン

ミシンが止まっているときボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に切りかえ、下にあるときは上に切りかえることができます。

- ※ 上位置に切りかえた状態でぬうと、ミシンを止めたとき針は上位置で止まり、下位置に切りかえた状態でぬうと針は下位置で止まります。(電源を入れたときは、上位置で止まる状態になっています。)
- ※ 下位置に切りかえておいても、No.05、06、07 (10,11,12)、No.08、No.09、No.49 は、ぬい終わったときは上位置で止まります。
- ※ ( ) 数字は、モデル 20 ステッチの模様 No です。

#### ⑤カーソル移動ボタン

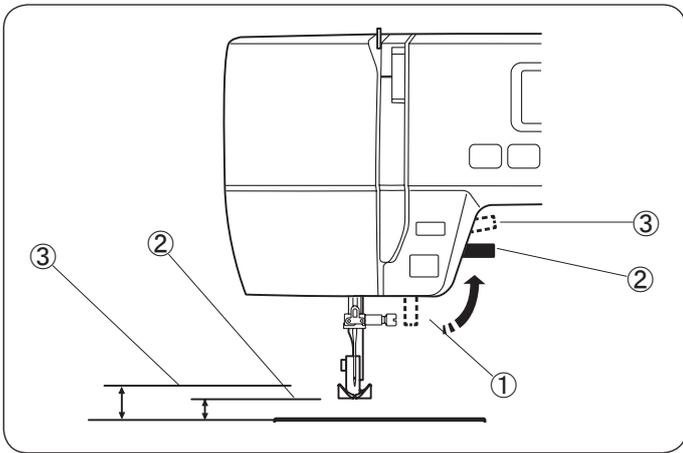
モード (模様、ぬい目の幅、ぬい目長さ) を設定するとき、カーソル移動ボタンを押します。

- ※  ボタンを押すと、カーソルが左へ移動します。
- ※  ボタンを押すと、カーソルが右へ移動します。
- ⑦ カーソル

#### ⑥数値設定ボタン

モードの数値を変更するとき、数値設定ボタンを押します。

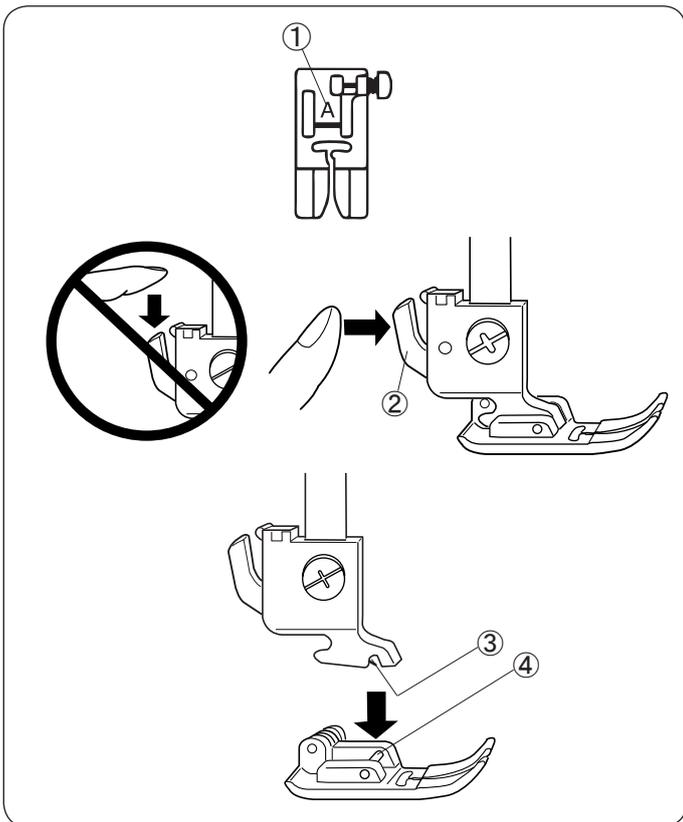
- ※  ボタンを押すと、カーソルのあるモードの数値が大きくなります。
- ※  ボタンを押すと、カーソルのあるモードの数値が小さくなります。



## ●押え上げ

押え上げで、押えのあげさをを行います。  
 押え上げを普通にあげた位置よりさらに高くあげること  
 もでき、厚い布を入れるときなどに利用できます。

- ① 押え上げ  
 (さげた位置)  
 むうときや糸通しを使って針に糸を通すときなど
- ② 普通にあげた位置  
 布のセットや取り出し、上糸かけ、押えの交換の  
 ときなど
- ③ さらにあげた位置  
 (固定することはできません。) 厚い布を入れるときなど



## ●押えの外し方、付け方

### ⚠ 注意

- ・ 押えの取り外し・取り付けを行うときは、必ず電  
 源スイッチを切ってください。けがの原因になります。
- ・ 押えは、模様にあったものをご使用ください。押  
 さえが合っていないと針が押えにあたり、けがの  
 原因になります。

### 【押えの外し方】

押え上げをあげて、押えホルダーのレバーをうしろ側か  
 ら手前に押し、押えを外します。

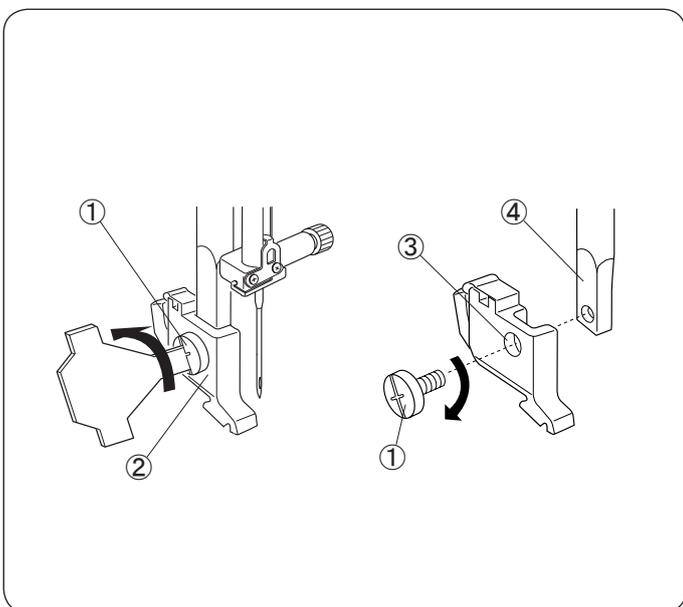
※ レバーを上から押さないでください。故障の原因にな  
 ります。

- ① 押え記号
- ② レバー

### 【押えの付け方】

押えのピンを押えホルダーのみぞに合わせて、押え上げ  
 を静かにおろします。

- ③ みぞ
- ④ ピン



## ●押えホルダーの外し方、付け方

### ⚠ 注意

押えホルダーの取り外し・取り付けを行うときは、必  
 ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になり  
 ます。

### 【押えホルダーの外し方】

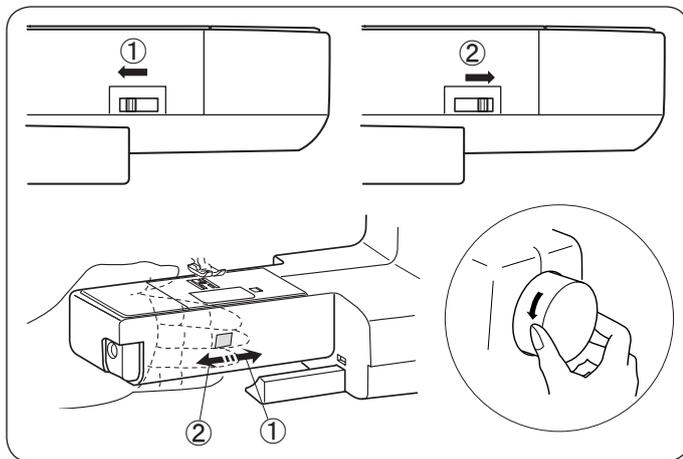
押えホルダー止めねじを左にまわして外し、押えホルダ  
 ーを外します。

- ① 押えホルダー止めねじ
- ② 押えホルダー

### 【押えホルダーの付け方】

押えホルダー止めねじを押えホルダーの穴に通し、右に  
 まわして、押えホルダーを押え棒に取り付けます。

- ③ 押えホルダーの穴
- ④ 押え棒

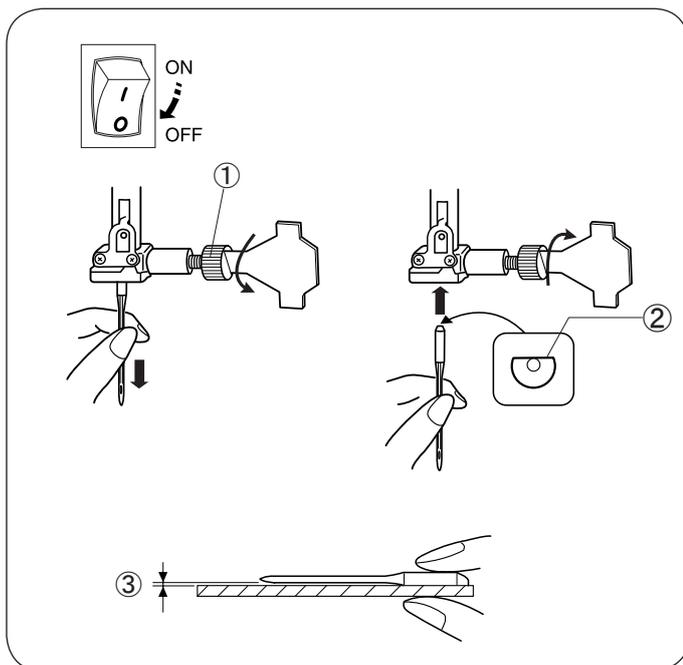


### ●送り歯ドロップつまみ

ボタン付けなどのときは、送り歯ドロップつまみを「送り歯をさげる位置」にセットして、送り歯をさげます。

- ① 送り歯をさげる位置
- ② 送り歯をあげる位置

※ 送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら、送り歯ドロップつまみを「送り歯をあげる位置」にもどし、はずみ車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認してください。



### ●針の取りかえ方

#### ⚠ 注意

針を交換するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがの原因になります。

はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押え上げをさげます。

針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けてピンにあたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっかりしめます。

- ① 針止めねじ
- ② 針の平らな面

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

#### 【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

- ③ すきま

### ●布に適した糸や針を選ぶ目安

布の種類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9 番～11 番
普通の布	シーチング ジャージー ウール地	絹糸 50 番 綿糸 60 番 ポリエステル、ナイロン 50 番～90 番	11 番～14 番
		綿糸 50 番	14 番
厚い布	デニム ツイード コート地	絹糸 50 番 綿糸 40 番～50 番 ポリエステル 40 番～50 番	14 番～16 番
		ポリエステル 30 番 綿糸 30 番	16 番

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。

この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをして確かめてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ 伸縮性のある布（ジャージー、トリコット等）など目とびしやすい布地は、ニット針（別売）を使用すると、目とびの防止効果があります。

## ●糸こまのセット

糸の端が糸こまの下から手前が出るように糸こまを向けて糸立て棒に入れます。

糸こま押えを押し付けて、糸こまを押えます。

※ 普通の糸こまには糸こま押え（大）を、小さい糸こまには糸こま押え（小）を使います。

- ① 糸立て棒
- ② 糸こま
- ③ 糸こま押え（大）
- ④ 糸こま押え（小）

※ 糸が外れる場合は、糸こまの下に糸こま受け台をセットしてください。

## ●補助糸立て棒の使い方

付属の補助糸立て棒を使うと、ミシンに付いている糸立て棒に糸こまをセットした状態のまま別の糸こまで糸巻きができます。

補助糸立て棒を使うときは、図のように補助糸立て棒取り付け穴に差し込んでください。

糸こまは、糸の端が糸こまの右側からうしろに出るようにセットしてください。

※ 糸巻き糸案内には図のようにかけます。

- ① 糸こま受け台
- ② 補助糸立て棒
- ③ 補助糸立て棒取り付け穴
- ④ フェルト
- ⑤ 糸巻き糸案内

## ●ボビンの取り出し

押え上げをあげ、角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

ボビンを取り出します。

- ① 角板開放ボタン
- ② 角板
- ③ ボビン

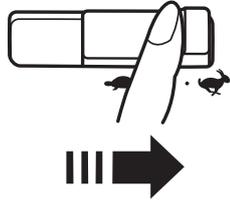
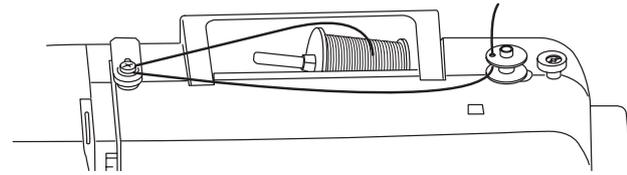
※ ボビンは、専用のプラスチックボビンをおすすめします。

（お買い上げの販売店へご相談ください。）

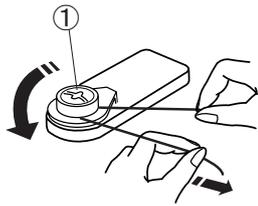
## ●下糸巻き

※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用しないでください。

※ 糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを最高速（いちばん右側の位置）にセットしてください。



1

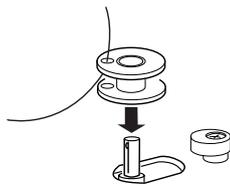


1 糸こま側の糸を押え、うしろ側から手前にまわし、矢印方向に引いて、糸巻き糸案内にかけます。

※ 糸巻き糸案内の皿の下に確実に入れてください。

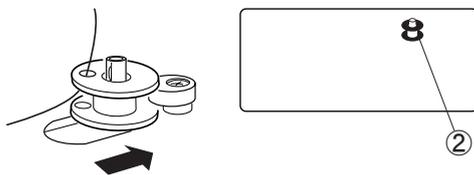
① 糸巻き糸案内

2



2 ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

3 4 5



3 ボビンをボビン押えの方に押しつけます。  
表示画面に糸巻き位置にセットされたことを示す糸巻き表示が点灯します。

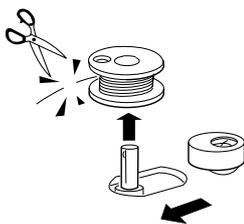
② 糸巻き表示

4 糸の端をつまんだままミシンをスタートさせ、ボビンに糸が3重ほど巻きついたらミシンを停止し、つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

5 再びミシンをスタートさせます。  
巻き終わると自動的にボビンの回転が止まるので、ボビンの回転が止まったらミシンを停止します。

※ ミシンを停止しないで放置しておくと、安全のためにミシンがスタートしてから約2分間で自動停止します。

6



6 ボビンを左にもどし、糸巻き軸からボビンを外して糸を切ります。

※ ボビン（糸巻き軸）は、必ずミシンを停止してからもどしてください。

## ●ボビンのセット

### ⚠ 注意

ボビンを内がみにセットするときは、必ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

**1** 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように向けて（糸が左巻き）、ボビンを内がみに入れます。

① 糸の端

※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。

**2** 糸の端を引きながら、手前のみぞ（A）にかけます。

② 手前のみぞ（A）

**3** 糸を引きながら左へ移動させ、左側のみぞ（B）のところに出示します。

③ 左側のみぞ（B）

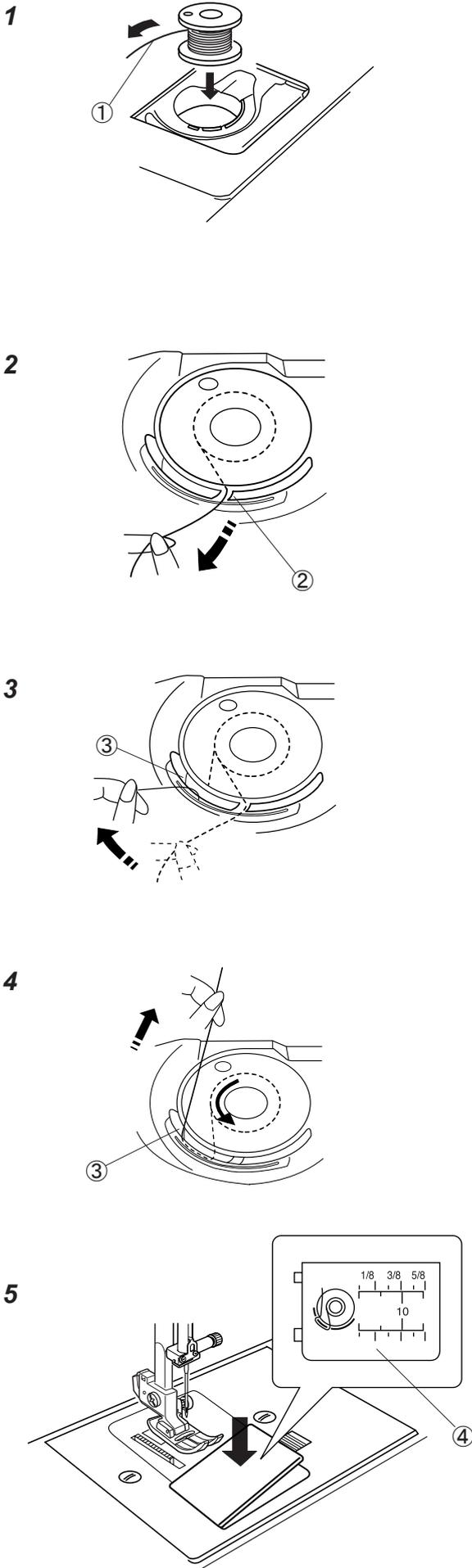
**4** 糸を左側のみぞ（B）にかけるように向こう側に出します。

※ 糸を引き出したとき、ボビンは反時計方向に回転します。

時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上下逆に入れかえます。

**5** 下糸は 10cm くらい引き出して、角板を左側から合わせて取り付けます。

④ 角板



## ●上糸かけ

### 【準備】

1. 押え上げをあげます。
  2. 電源スイッチを入れ、針上下移動ボタンを押して針と天びんをあげます。
- ① 針上下移動ボタン
3. 電源スイッチを切ります。

### ⚠ 注意

上糸かけは、必ず電源スイッチを切ってください。  
けがの原因になります。

※ 上糸かけは、必ず押え上げをあげて行ってください。  
押え上げがあがっていないと糸が正しくかけられず、ぬい不良の原因になります。

※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押えながら、左手で強めに引いてかけてください。

※ 糸こまのセット方法は、「糸こまのセット」(10ページ)をごらんください。

**1** 糸こまから糸を引き出し、糸案内体の下に巻きつけるようにかけ、みぞにそって手前に糸を引き出します。

- ② 糸こま
- ③ 糸案内体

**2** 糸案内板の下をまわし、左上に引きあげます。

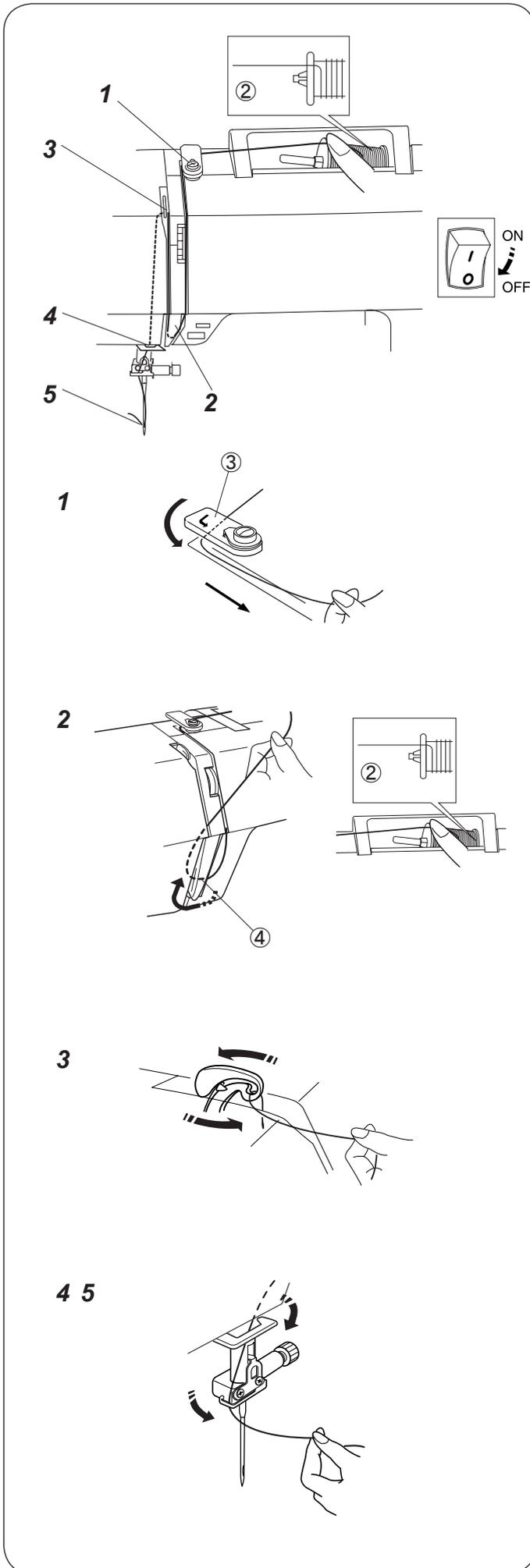
- ④ 糸案内板

**3** 天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。

**4** アーム糸案内に右からかけます。

**5** 針棒糸かけに左からかけます。

※ 糸通しを使って針に糸を通します。  
糸通しの使い方は、(14ページ)をごらんください。



## ●糸通しの使い方

### ⚠ 注意

糸通しを使うときは、必ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

※ 針は 11 番～ 16 番、糸は 50 番～ 90 番が使用できます。

**1** 上糸かけのときに針上下移動ボタンで針をあげた状態のまま、押え上げをさげます。  
糸通しレバーを止まるまでさげます。

① 糸通しレバー

② フック

※ 糸通しが止まった位置で、針穴にフックが入っています。

**2** 糸をガイドの左側からフックの下にまわします。

③ ガイド

※ 糸はフックの下を通ります。

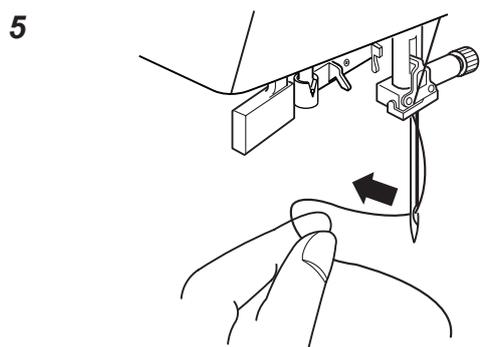
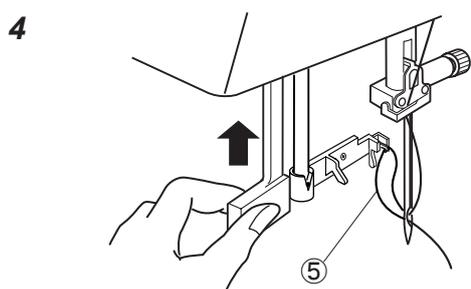
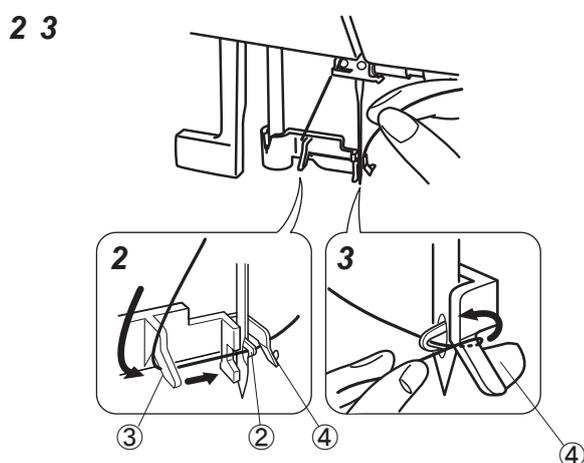
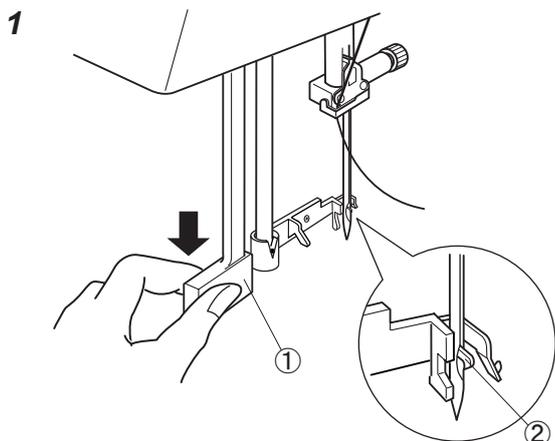
**3** 糸保持板に下からかけ、手前にたらししておきます。

④ 糸保持板

**4** 糸通しを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。

⑤ 糸の輪

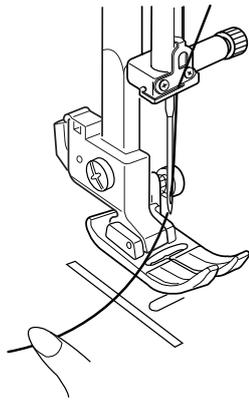
**5** 糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて、針穴から糸の端を引き出します。



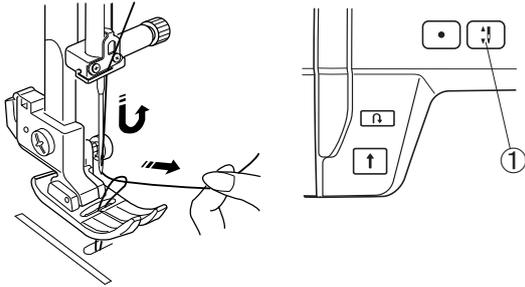
## ●下糸の引き上げ

1 押え上げをあげ、糸の端を指で押えておきます。

1



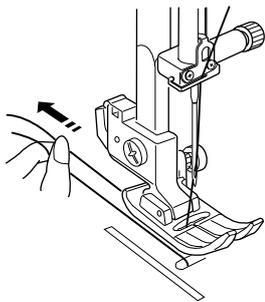
2



2 電源スイッチを入れ、針上下移動ボタンを押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。  
上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

① 針上下移動ボタン

3



3 上糸と下糸を押えの下にして、約 10cm うしろにそろえて引き出します。

## ●表示画面の説明

表示画面には、選ばれている模様の模様番号、その模様の代表的なぬいに使用される押えの記号、その模様自動的に設定されている模様のぬい目の幅とぬい目長さの値、およびカーソルが表示されています。

カーソルの表示されているモード（模様、ぬい目の幅、ぬい目長さ）が、数値設定ボタンで設定できます。

- ①押え記号
- ②模様 No.
- ③カーソル
- ④ぬい目の幅
- ⑤ぬい目長さ

## ●模様の選び方

1   ボタンで模様モードを選びます。

2 カーソルが2つあるときに、  ボタンを押すと、一の位と十の位の数値が変更できます。

3   ボタンの  ボタンを押して、カーソルを1つにして、  ボタンを押すと、十の位の数値が変更できます。

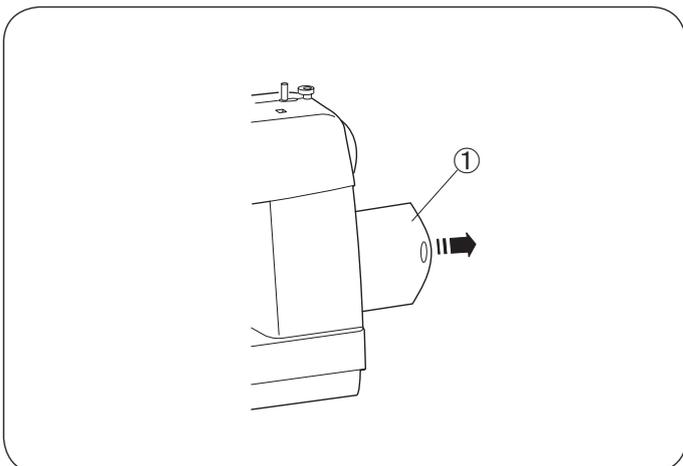
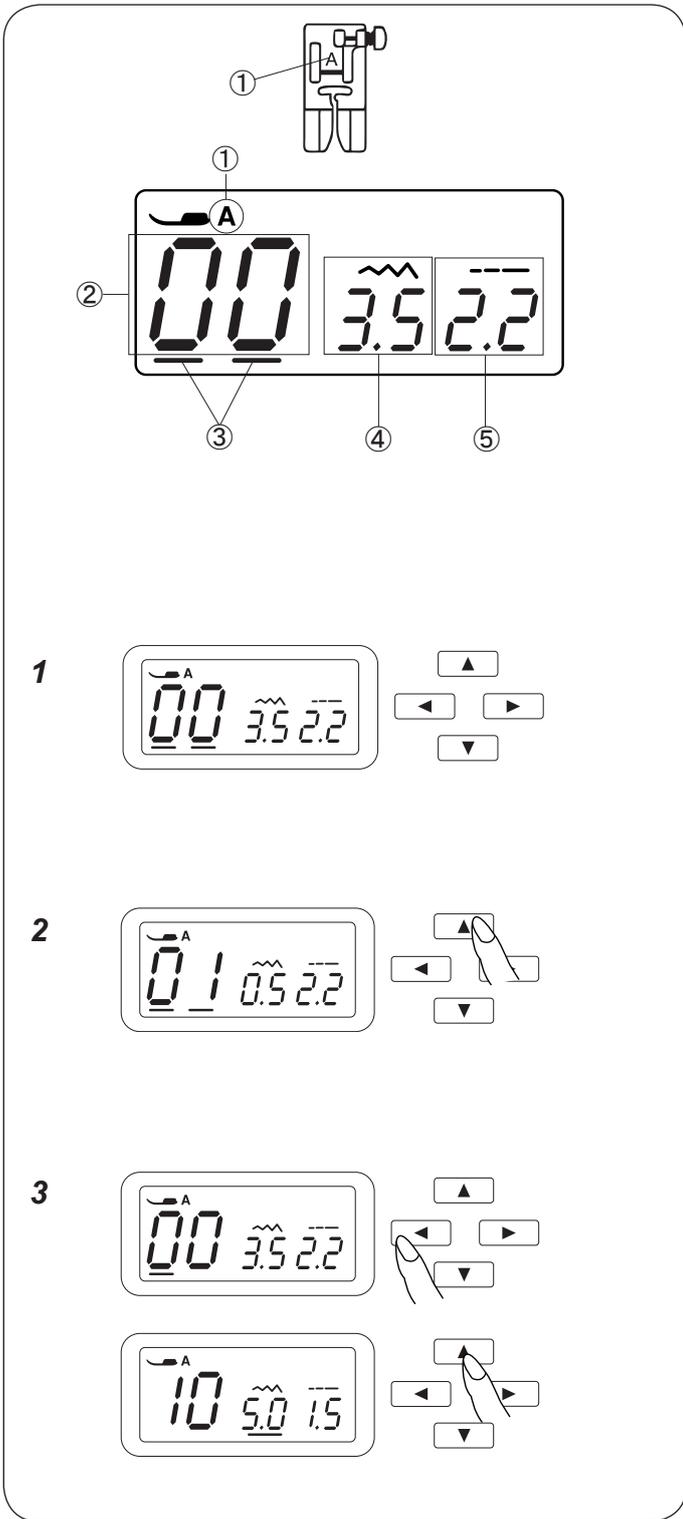
※ ぬい目の幅、ぬい目長さの変更は、21、24 ページをごらんください。

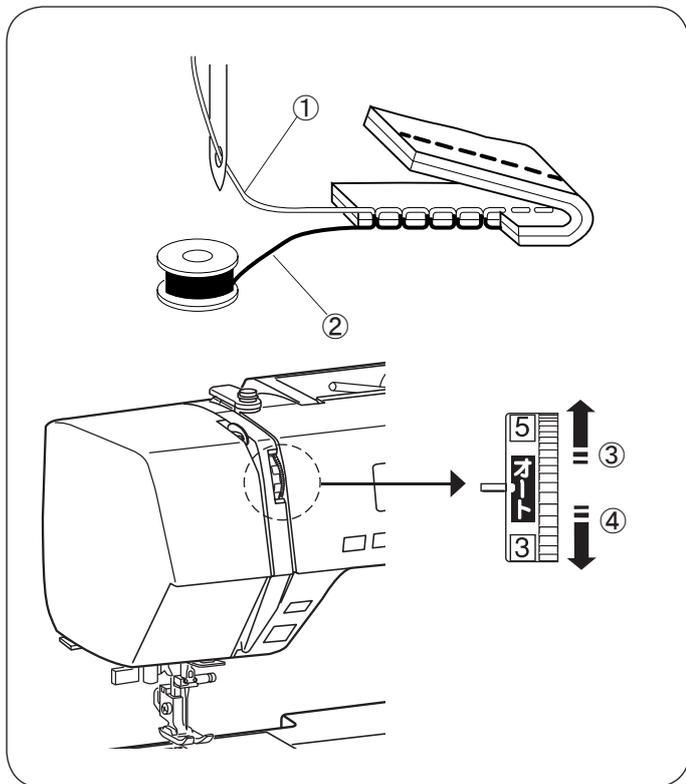
## ●早見板

早見板を引き出すと、ミシンに表示されている模様以外の模様が表示されています。

※ ミシンを収納するときは、早見板をもとの位置にもどして収納してください。

- ①早見板





## ●糸調子ダイヤル

通常は、糸調子ダイヤルの「オート」を指示線に合わせると、上糸と下糸がバランス良くぬえるように自動セットされます。

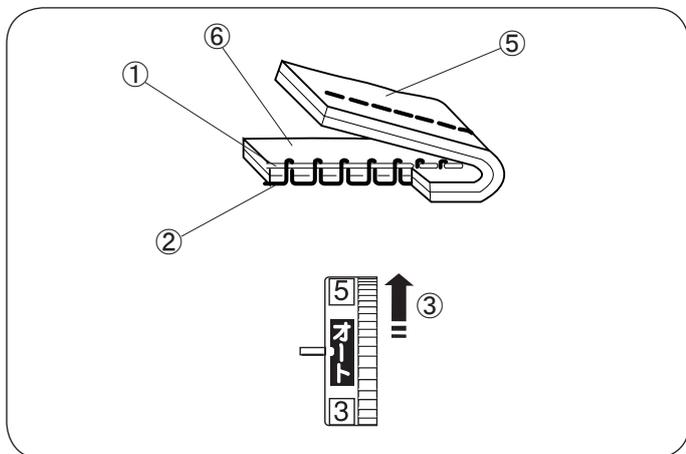
### 【直線模様のバランスのとれた糸調子】

直線ぬいのはきは、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わります。

- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 小さな数字に合わせて糸調子が弱くなります。
- ④ 大きな数字に合わせて糸調子が強くなります。

糸や布の種類などによって「オート」の位置で糸調子のバランスがとれないときは、糸調子ダイヤルで調節します。

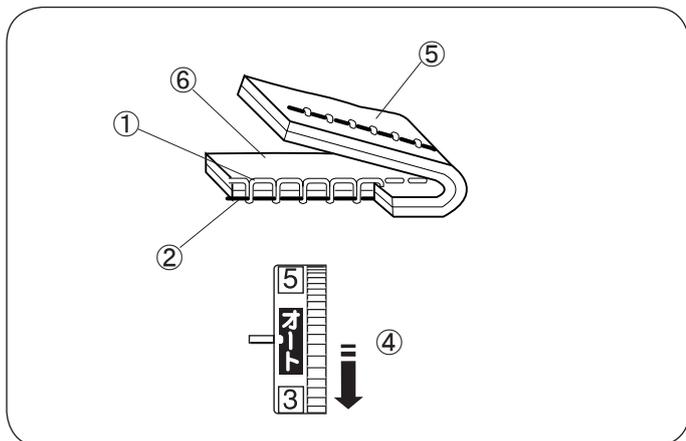
※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。



### 【上糸が強すぎる場合の調節】

上糸が強すぎると、下糸が布の表に引き出されます。糸調子ダイヤルをまわして、小さな数字を指示線に合わせます。

- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 小さな数字に合わせて糸調子が弱くなります。
- ⑤ 布の裏
- ⑥ 布の表



### 【上糸が弱すぎる場合の調節】

上糸が弱すぎると、上糸が布の裏に引き出されます。糸調子ダイヤルをまわして、大きな数字を指示線に合わせます。

- ① 上糸
- ② 下糸
- ④ 大きな数字に合わせて糸調子が強くなります。
- ⑤ 布の裏
- ⑥ 布の表

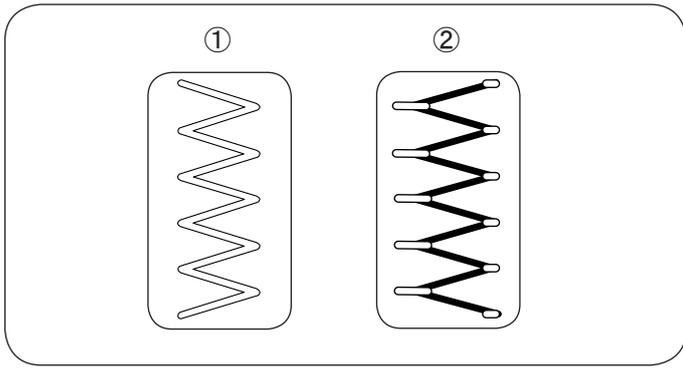
### 【ジグザグ模様のバランスのとれた糸調子】

ジグザグぬいのはきは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

- ① 布の表
- ② 布の裏

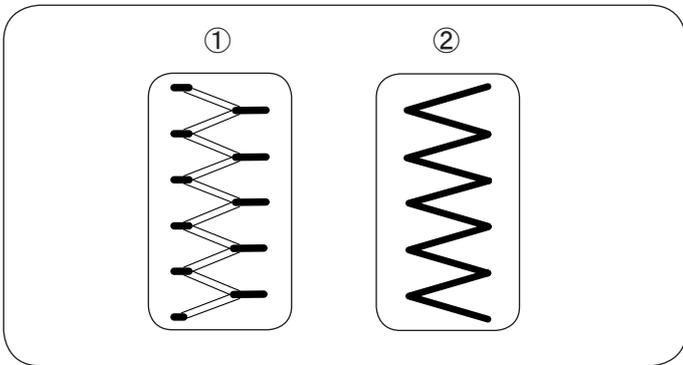
糸や布の種類などによって「オート」の位置で糸調子のバランスがとれないときは、糸調子ダイヤルで調節します。

※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。



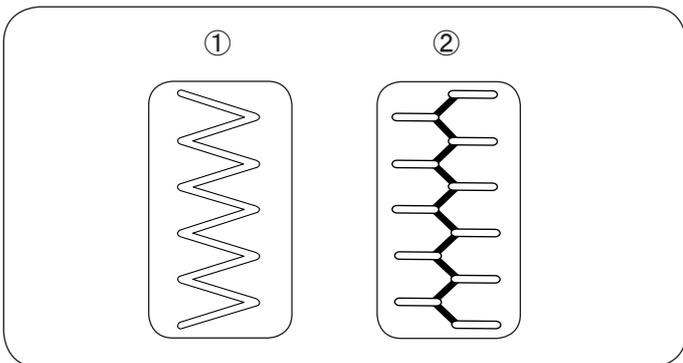
### 【上糸が強すぎる場合の調節】

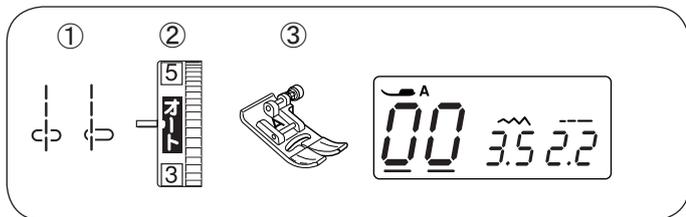
上糸が強すぎると、下糸が布の表に引き出されます。糸調子ダイヤルをまわして、小さな数字を指示線に合わせます。



### 【上糸が弱すぎる場合の調節】

上糸が弱すぎると、上糸が布の裏に引き出されます。糸調子ダイヤルをまわして、大きな数字を指示線に合わせます。





## ◎実用ぬい

### ●直線ぬい

#### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 00 または 01
- ② 糸調子ダイヤル: 2 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A

#### ★ぬい始め

上糸と下糸を押えの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押え、はずみ車を手前にまわして、ぬい始めの位置に針をさします。押え上げをさげて、スタート/ストップボタン（フットコントローラー）を押して、ぬい始めます。

##### ① スタート/ストップボタン

※ F: サテン押えや R: ボタンホール押えは、ぬい始めの糸は横方向に引き出して押えてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押しながら返しぬいをする方法と、自動返しぬい模様 No.02 または自動止めぬい模様 No.03 を使う方法があります。

(22 ページをごらんください。)

##### ② 返しぬいボタン

#### ★返しぬい

返しぬいボタンを押しながら、数針返しぬいをします。

※ ぬい終わりのほつれ止めは、返しぬいボタンを押しながら返しぬいする方法と、自動返しぬい模様 No.02 または自動止めぬい模様 No.03 を使う方法があります。

(22 ページをごらんください。)

#### ★布の引き出し方

針があがった位置で押え上げをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

#### ★糸切り

布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

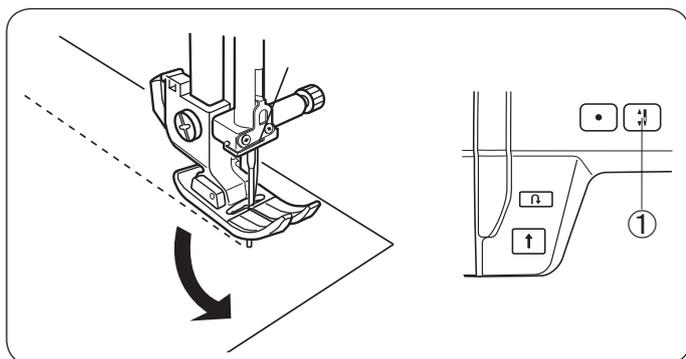
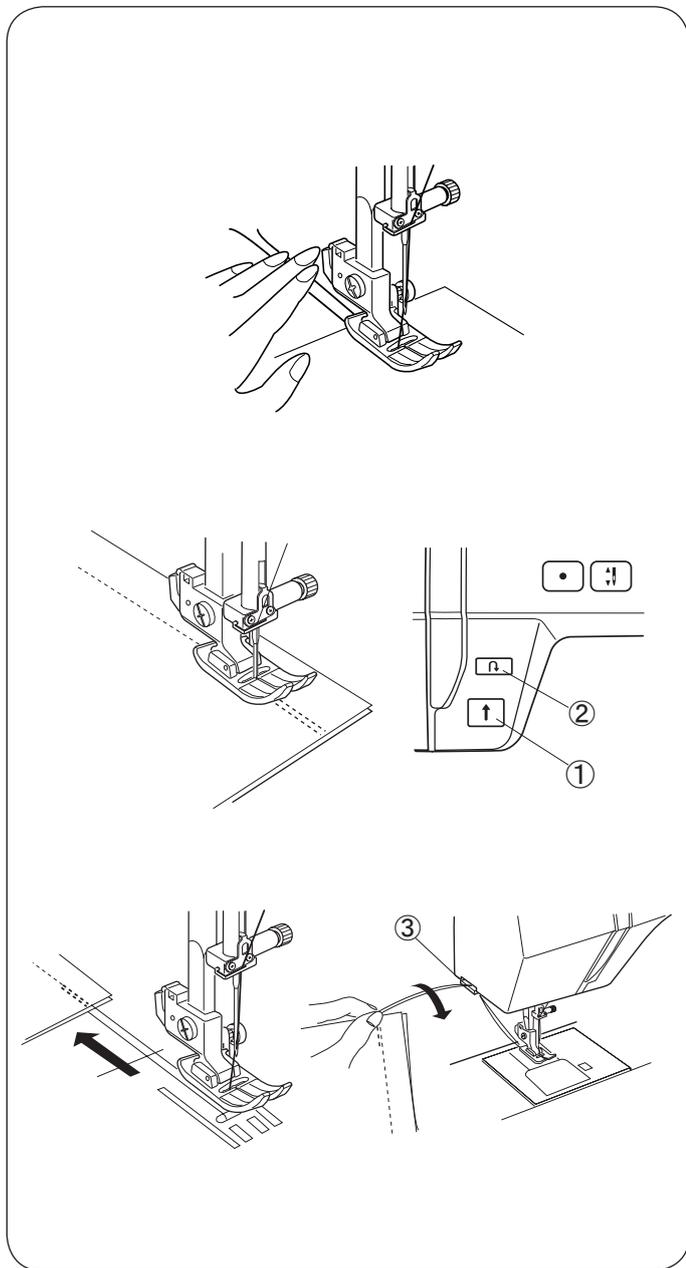
##### ③ 糸切り

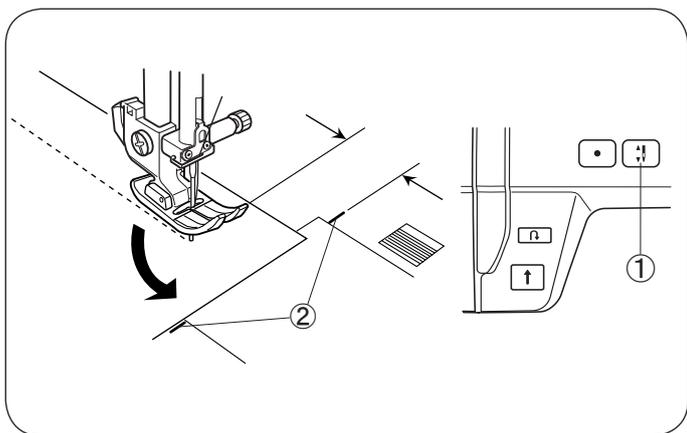
#### ★ぬい方向の変更

ミシンを止め、針上下移動ボタンを押して針を布にさし、押え上げをあげます。

針を布にさしたまま、ぬい方向をかえます。

##### ① 針上下移動ボタン



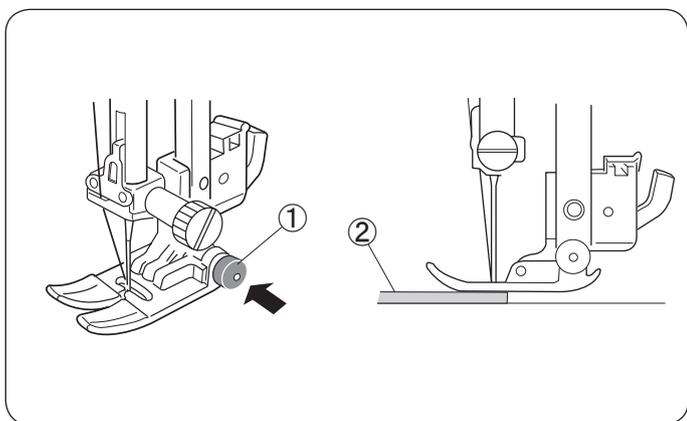


### ★コーナーリングガイドの利用

布端から 1.6cm (5/8 インチ) のところで直角にぬい方向をかえるときに使います。(ぬい方向をかえたあと、布端から 1.6cm (5/8 インチ) の位置でぬうことができます。)

布端がコーナーリングガイドのところきたらミシンを止め、針上下移動ボタンを押して針を布にさします。押え上げをあげ、布を直角に回転させると、布端がガイドライン 1.6cm (5/8 インチ) の位置に合います。押え上げをさげ、ミシンをスタートします。

- ① 針上下移動ボタン
- ② コーナーリングガイド



### ★厚手の布端のぬい始め

ぬい始めの位置に針をさし、基本押えの黒ボタンを押し込みます。

黒ボタンを押したまま押え上げをさげます。

黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

※ 黒ボタンを押した状態で押え上げをさげると押えが水平に固定され、段部をスムーズにぬい始めることができます。

ぬい始めると黒ボタンがもどり、押えはもとの自由に動く状態になります。

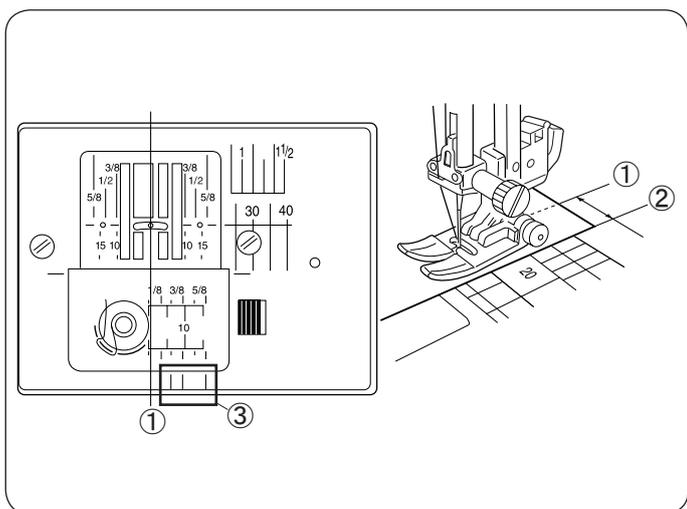
- ① 黒ボタン
- ② 布

### ●針板ガイドラインの利用

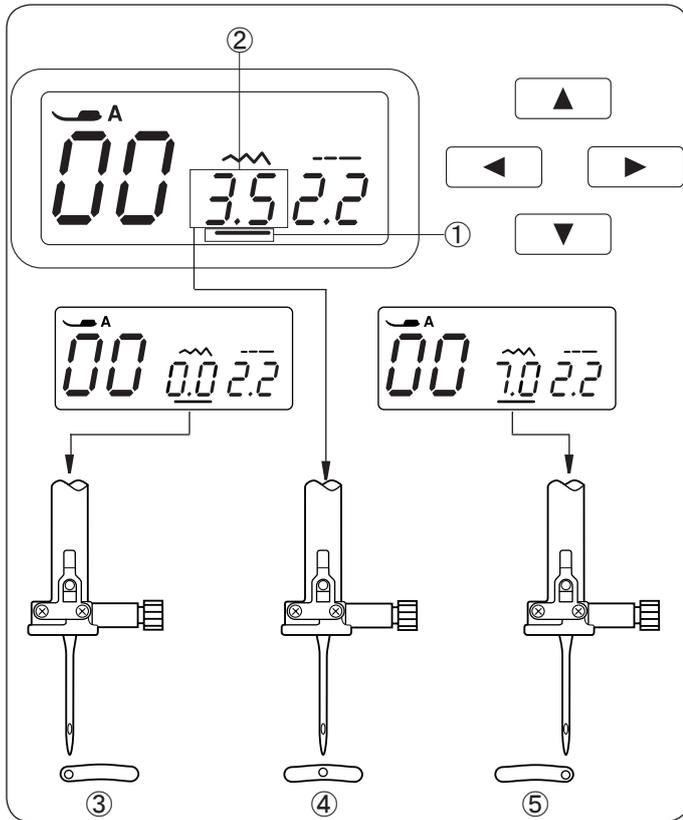
針板および角板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドラインを表示しています。

- ガイドラインの数字は、針穴中央 (ぬい位置) からの距離を「ミリメートル」と「インチ」で表示していて、布端をガイドラインに合わせてぬうと、ぬい幅がそろいます。
- 針板の手前側にも、針穴中央 (ぬい位置) からの距離 0.6cm (1/4 インチ)、0.9cm (3/8 インチ)、1.6cm (5/8 インチ) のガイドラインを表示しています。

- ① 針穴中央    ② 布端    ③ 針板手前側ガイドライン



数字	10	15	30	40	3/8	1/2	5/8	1	1 1/2
センチメートル	1.0	1.5	3.0	4.0	—	—	—	—	—
インチ	—	—	—	—	3/8	1/2	5/8	1	1 1/2



## ●針位置をかえるとき

※ 直線状のぬい目、

00 01 02 03 17 18 19

模様 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ (モデル 50 ステッチ)、

模様 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ (モデル 20 ステッチ) は、

針位置をかえることができます。

◀ ▶ ボタンを押して、カーソルをぬい目の幅モードにします。

初期値（購入時のセット状態）は 3.5 です。

① カーソル

② ぬい目の幅モード

※ 0.0 ～ 7.0 のはんいで 0.5 ずつかえることができます。

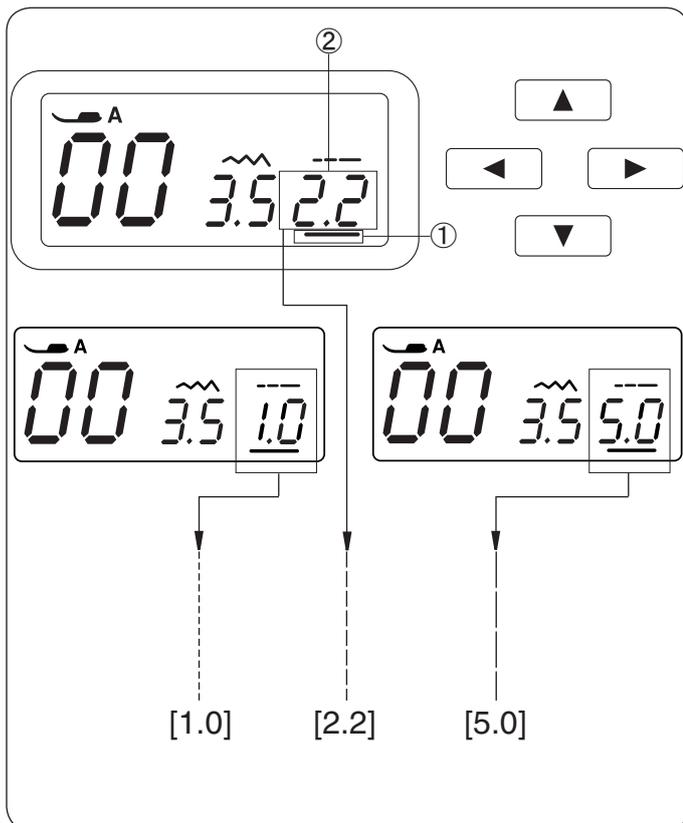
※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安をミリメートルで表示しています。

画面の数値は直線状模様の場合は、左針位置からの距離の目安をミリメートルで表示しています。

▼ ボタンを押すと表示される数値が小さくなり、針位置が左に移動します。

▲ ボタンを押すと表示される数値が大きくなり、針位置が右に移動します。

③ 針位置左「0.0」 ④ 針位置中「3.5」 ⑤ 針位置右「7.0」



## ●ぬい目長さをかえるとき

◀ ▶ ボタンを押して、カーソルをぬい目長さモードにします。

初期値（購入時のセット状態）は 2.2 です。

① カーソル

② ぬい目長さモード

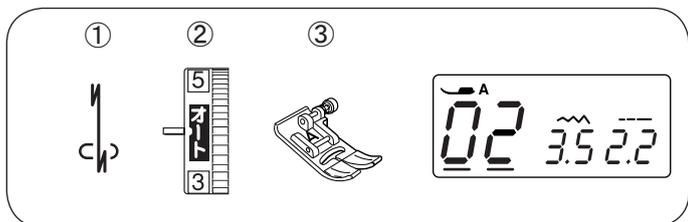
※ 0.0 ～ 5.0 のはんいでかえることができます。  
0.0、1.0、1.5、1.8 とかえることができ、  
1.8 から 3.0 までは 0.2 ずつ、3.0 から 5.0  
までは 0.5 ずつかえることができます。

※ ぬい目長さは、布や糸によりかわりますので、画面の数値は目安としてミリメートルで表示しています。

▼ ボタンを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が短くなります。

▲ ボタンを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目が長くなります。

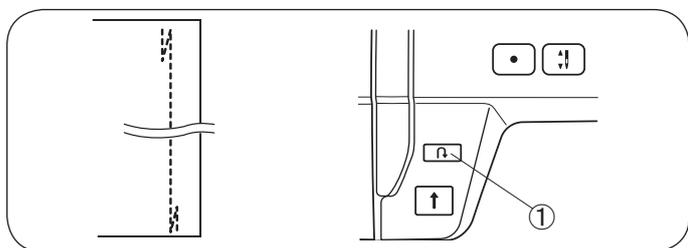
※ 返しぬいのぬい目長さは、表示数値より短くなります。



## ●自動返しぬい

### ミシンのセット

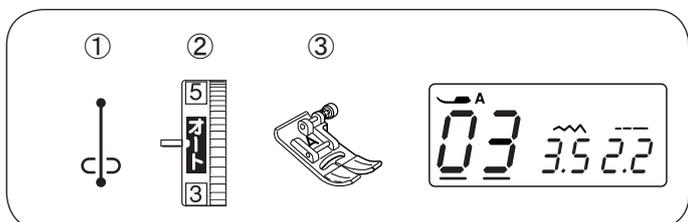
- ① 模様 No.: 02
- ② 糸調子ダイヤル: 2 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A



しっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使います。  
ミシンをスタートすると、ぬい始めに自動的に返しぬい  
をしたあと、直線ぬいをします。

ぬい終わりにきたら、返しぬいボタンを一度押します。  
数針返しぬいをして自動的に止まります。

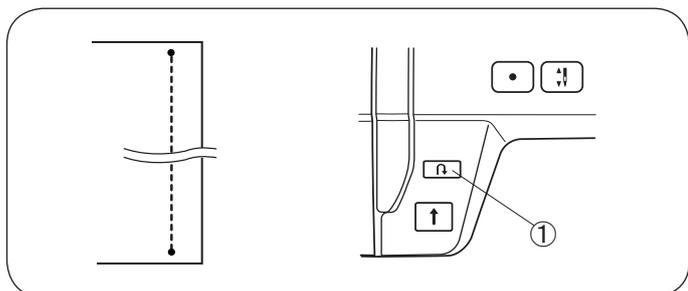
① 返しぬいボタン



## ●自動止めぬい

### ミシンのセット

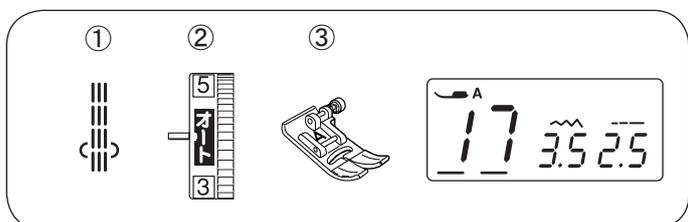
- ① 模様 No.: 03
- ② 糸調子ダイヤル: 2 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A



目立たない止めぬいを自動的に行うときに使います。  
ミシンをスタートすると、ぬい始めに自動的に止めぬい  
をしたあと、直線ぬいをします。

ぬい終わりにきたら、返しぬいボタンを一度押します。  
止めぬいをして自動的に止まります。

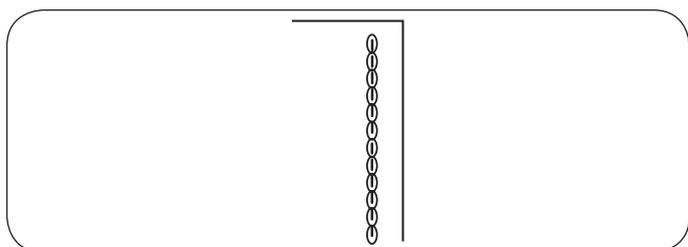
① 返しぬいボタン



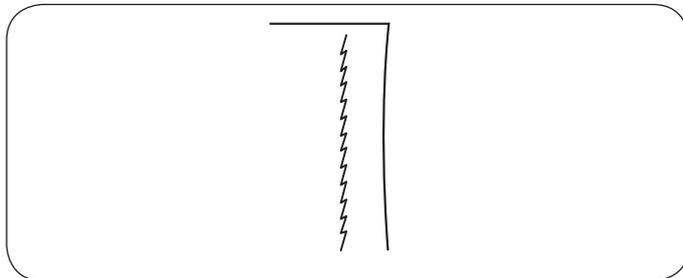
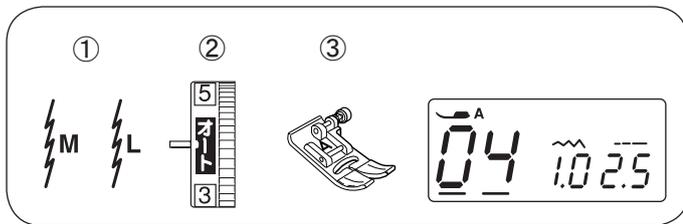
## ●三重ぬい

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 17 (モデル 50 ステッチ)  
模様 No.: 04 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 2 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A



伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに利用します。



## ●伸縮ぬい

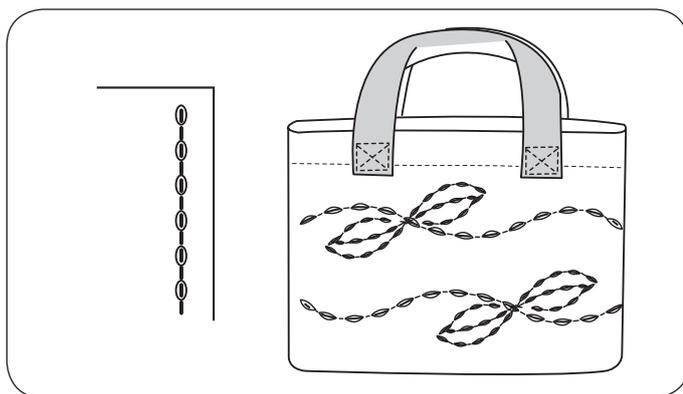
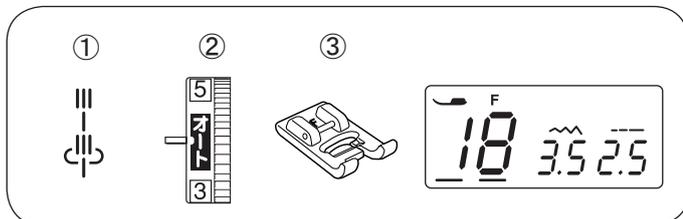
### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 04 (モデル 50 ステッチ)  
模様 No.: 05、06 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A

布が伸びても、糸が切れにくい、伸縮性のあるぬい目です。また、直線状なのでぬいしろを割ることができ、ニット、トリコットなどのぬい合わせに便利です。

※ 模様  は、うす地のニット素材に利用します。

※ 模様の右に書かれている「L」「M」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置を示し、「L」は左針位置を基準（固定）にした模様で、ぬい目の幅をかえたときに、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化します。同様に、「M」は中針位置を基準（固定）にした模様で、中央を基準（固定）に左右に幅が変化します。



## ●粒ぬい (モデル 50 ステッチのみ)

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 18
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: サテン押え F

図案の輪かくをはっきりさせたいときなど、飾りぬいに使います。

## ●ジグザグぬい

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 10 (モデル 50 ステッチ)  
07 (モデル 20 ステッチ)  
② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 7  
③ 押え: 基本押え A

ジグザグぬい (模様 10) で「基本押え A」を使用する場合は、試しぬいをして、ぬい縮みがでないよう、ぬい目の幅やぬい目長さを調節してご使用ください。(薄地の場合で、ぬい目の幅 3.0、ぬい目長さ 2.0 が目安です。)

ジグザグぬいは、たち目かがりや、ボタン付けなどいろいろなぬい方ができます。

※ 伸縮性のある布 (ニット、ジャージー、トリコットなど) には接着芯を貼るときれいにぬえます。

### ★ぬい目の幅をかえるとき

◀ ▶ ボタンを押して、カーソルをぬい目の幅モードにします。

初期値 (購入時のセット状態) は 5.0 です。

※ 0.0 ~ 7.0 のはんいで 0.5 ずつかえることができます。(幅の単位は、「mm」目安です。)

▲ ボタンを押すと、表示される数値が大きくなり、中針位置を基準 (固定) に左右に幅が広がります。

▼ ボタンを押すと、表示される数値が小さくなり、中針位置を基準 (固定) に左右に幅がせまくなります。

- ① カーソル  
② ぬい目の幅モード  
③ 幅広い  
④ 幅せまい  
⑤ 中針位置

### ★ぬい目長さをかえるとき

◀ ▶ ボタンを押して、カーソルをぬい目長さモードにします。

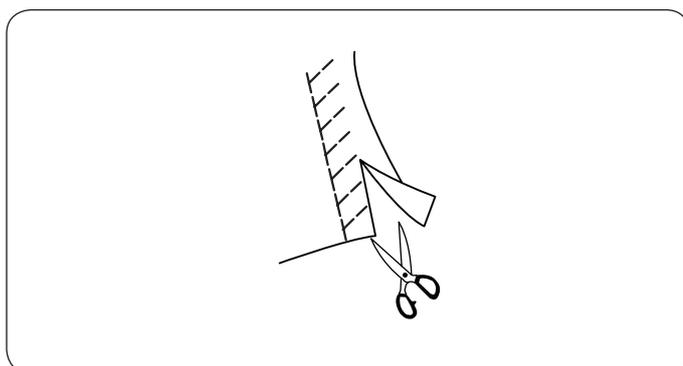
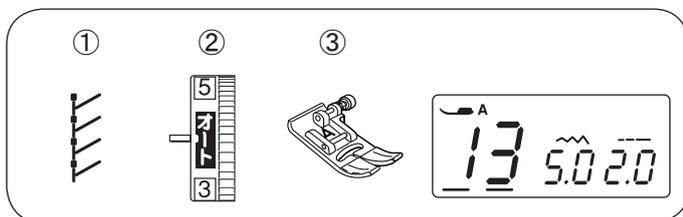
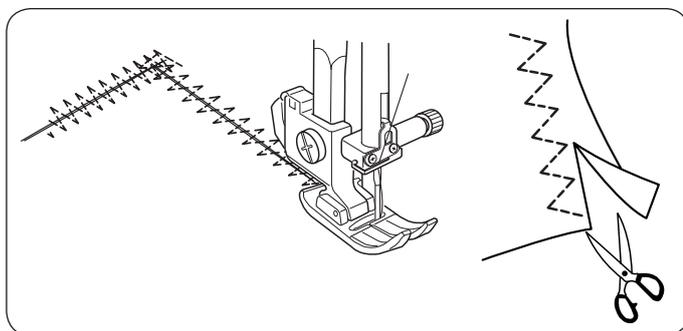
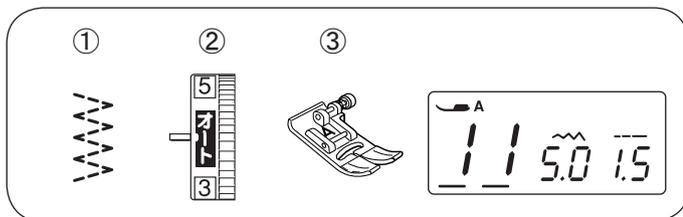
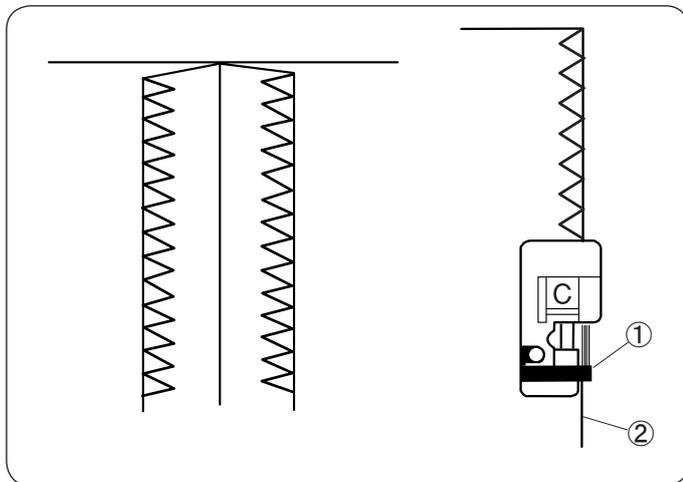
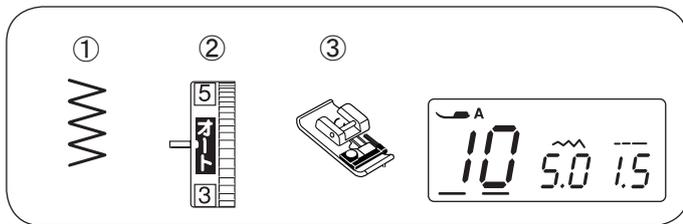
初期値 (購入時のセット状態) は 1.5 です。

※ 0.2 ~ 5.0 のはんいでかえることができます。  
0.2 ~ 1.0 までは 0.1 ずつ、1.0 から 5.0 までは 0.5 ずつかえることができます。  
(長さの単位は、「mm」目安です。)

▲ ボタンを押すと、表示される数値が大きくなり、長さが長くなります。

▼ ボタンを押すと、表示される数値が小さくなり、長さが短くなります。

- ① カーソル  
② ぬい目長さモード  
③ 長さ長い  
④ 長さ短い



## ●ジグザグぬいのたち目かがり

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 10 (モデル 50 ステッチ)  
07 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 7
- ③ 押え: たち目かがり押え C

布端のほつれ止めとして広く利用します。  
布端をたち目かがり押えのガイドにあててぬいます。

- ① ガイド
- ② 布端

### ⚠ 注意

たち目かがり押えを使用するときは、ぬい目の幅は 4.5 以下では使用しないでください。針が押えの針金にあたり、けがの原因になります。

## ●つくろいぬい

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 11 (モデル 50 ステッチ)  
08 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 7
- ③ 押え: 基本押え A

ほつれている部分のぬい合わせをします。  
ほつれた部分の布端をつき合わせてぬいます。

※ほつれ具合によって、裏側から別布をあててぬいます。

しわになりやすい合成せんいや、伸縮性布地(ニットなど)のかがりぬいにも使えます。

ぬいしろを少し多めに取ってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

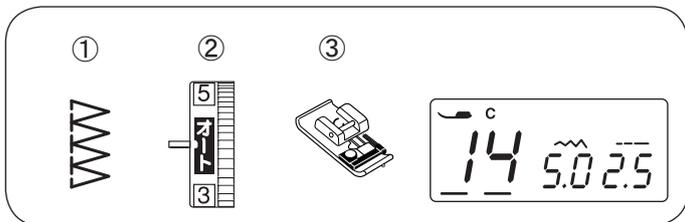
## ●ニットステッチ (モデル 50 ステッチのみ)

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 13
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A

伸縮性布地 (ニットなど) のかがりぬいに使います。

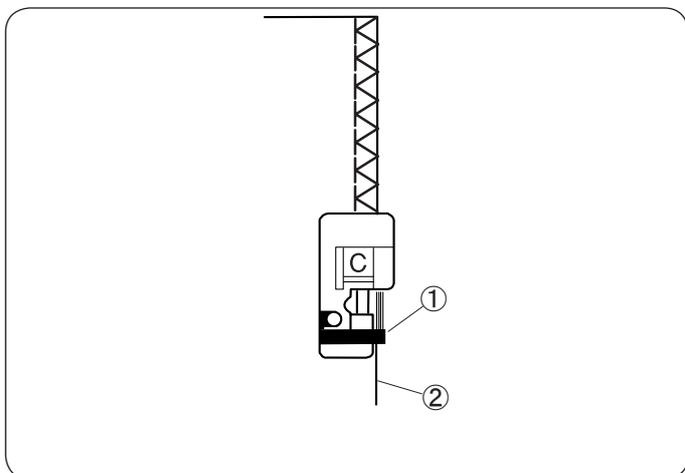
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。



## ●かがりぬい

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 14 (モデル 50 ステッチ)  
13 (モデル 20 ステッチ)  
② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 7  
③ 押え: たち目かがり押え C



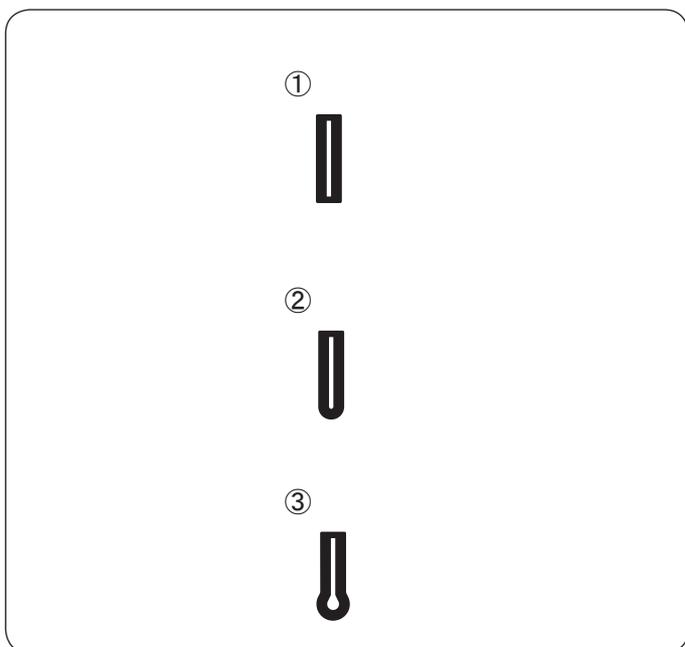
普通地、平織り 2 枚に適しています。  
地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使  
います。

布端を押えのガイドにあててぬいます。

- ① ガイド  
② 布端

### ⚠ 注意

たち目かがり押えを使用するときは、ぬい  
目の幅は 4.5 以下では使用しないでくださ  
い。針が押えの針金にあたり、けがの原因  
になります。



## ●ボタンホール

### ★ボタンホールの種類

#### ①両かん止めボタンホール

普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホー  
ルです。

#### ②ねむり穴ボタンホール

普通の布からうすい布に使います。ブラウス、子供服な  
どでよく使われます。

#### ③はと目ボタンホール

普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールで  
す。  
大きく厚めのボタンははと目ボタンホールがよく使われ  
ます。

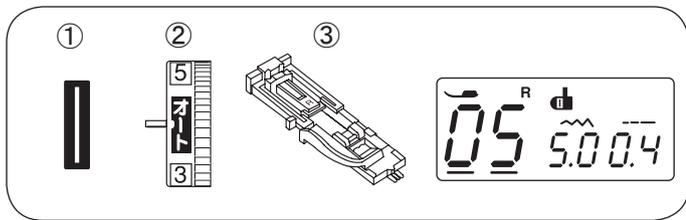
※ ボタンホールを選ぶと、表示画面にボタンホール切りかえレバー表示が点灯します。  
ボタンホールをぬうときは、ボタンホール切りかえレバーをさげてぬいます。

※ ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押えのボタン受け台にはさみこむと自  
動的に決まります。(27 ページをごらんください。)

※ ボタンの直径が 1.0 ~ 2.5cm までのボタンホールができます。

※ ぬうものと同じ布で試しぬいをして、ミシンのセットを確かめましょう。

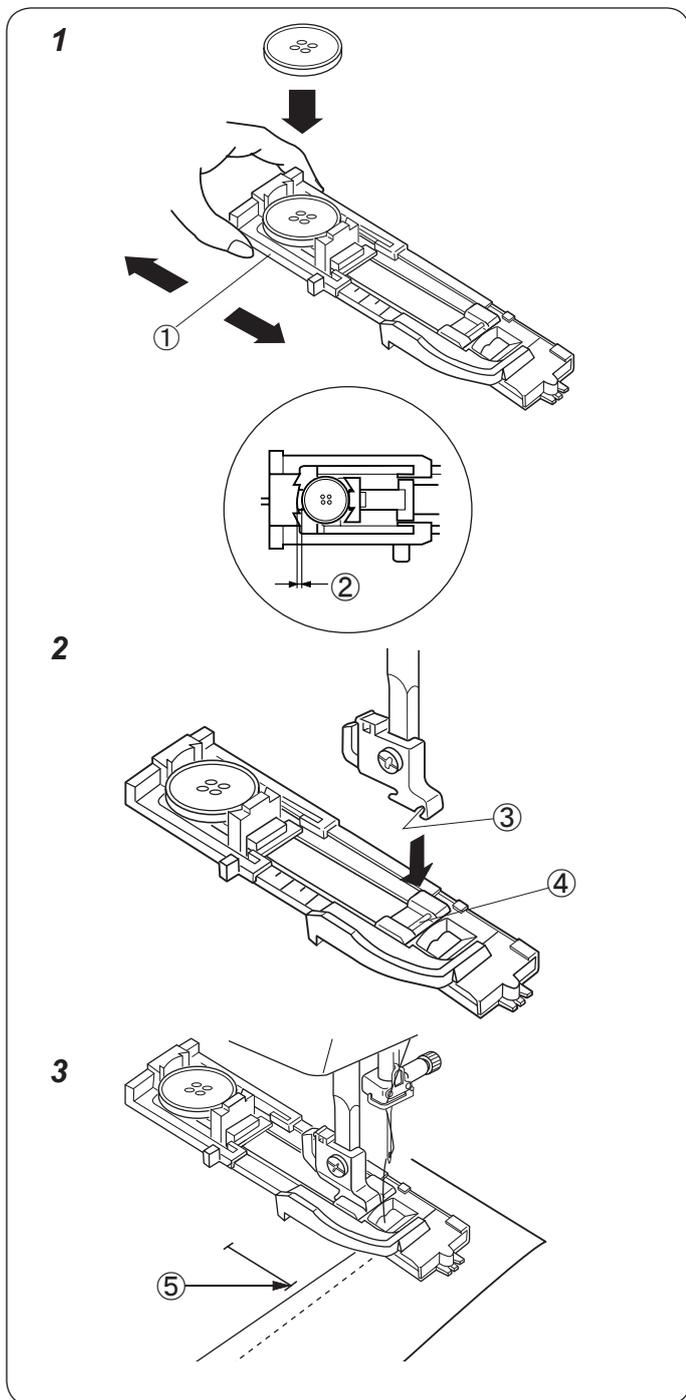
※ 伸縮性のある布は、裏に伸びにくい芯地を貼ってください。



### ★両かん止めボタンホールのぬい

#### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 05 (モデル 50 ステッチ)  
10 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: ボタンホール押え R



**1** ボタン受け台をうしろに引き、ボタンをのせてボタン受け台をもどし、ボタンをはさみます。

① ボタン受け台

※ ボタン受け台とボタンのあいだにすきまをあけると、その分大きなボタンホールができます。

② すきま

**2** 押えホルダーのみぞと押えのピンを合わせ、押え上げをさげてボタンホール押えをセットします。

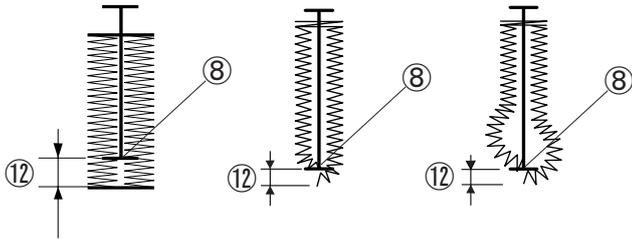
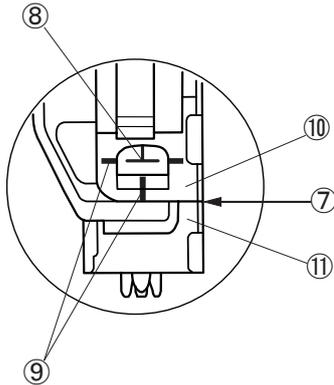
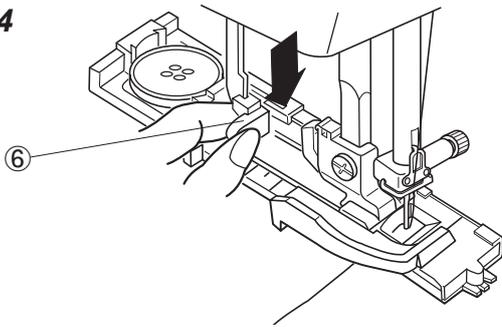
③ 押えホルダーのみぞ

④ 押えのピン

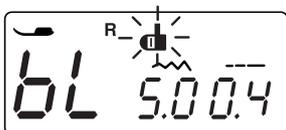
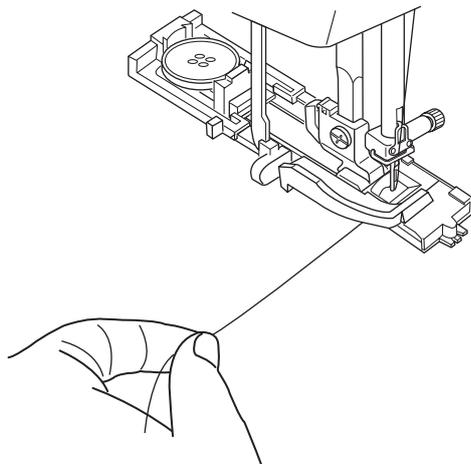
**3** 押え上げをあげて上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。  
布を入れ、手ではずみ車を手前にまわし、ぬい始めの位置に針をさして押え上げをさげます。

⑤ ぬい始めの位置

4



5



4 ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっばいに引きさげます。

⑥ ボタンホール切りかえレバー

※ めい始めに、押えスライダーストッパーのあいだにすきまがないことを確認してください。  
すきまがあると、めい始めの位置ずれになります。

⑦ すきまがないこと

⑧ めい始めの位置

⑨ スタートマーク

⑩ 押えスライダーストッパー

⑪

⑫ 位置ずれ

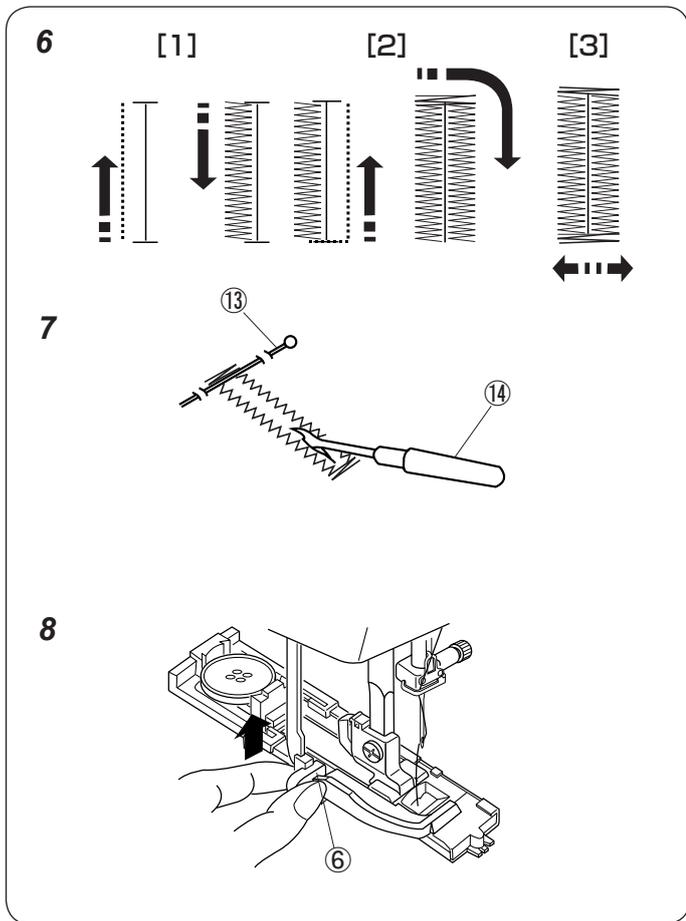
5 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。

(めい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。)

※ めい途中に模様 No. が **6L** と表示され (2~3 秒間)、同時にボタンホール切りかえレバー表示が点滅したとき…

ボタンホール切りかえレバーをさげないで、ボタンホールを 0.5cm ぬったときに表示します。

ボタンホール切りかえレバーをさげて、再スタートしてください。



## 6 ぬい順序

- [1] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

## 7 かんぬきの内側にまち針をわたして、シームリッパー

- ⑬ まち針
- ⑭ シームリッパー

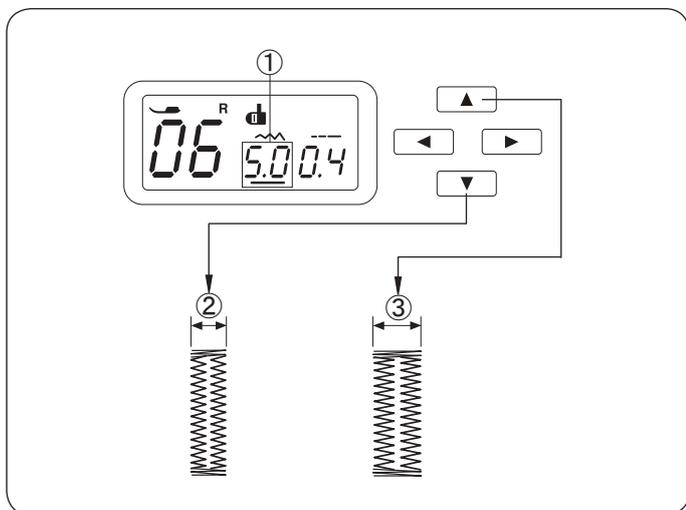
## 【ボタンホール重ねぬい】

ボリューム感のあるボタンホールができます。

一度目のボタンホールをぬい終わったら押え上げをさげたまま、ミシンをスタートさせます。  
自動的に重ねぬいをします。

## 8 ぬい終わったらボタンホール切りかえレバーを止まる

- ⑥ ボタンホール切りかえレバー



## ★ぬい目の幅・長さをかえるとき

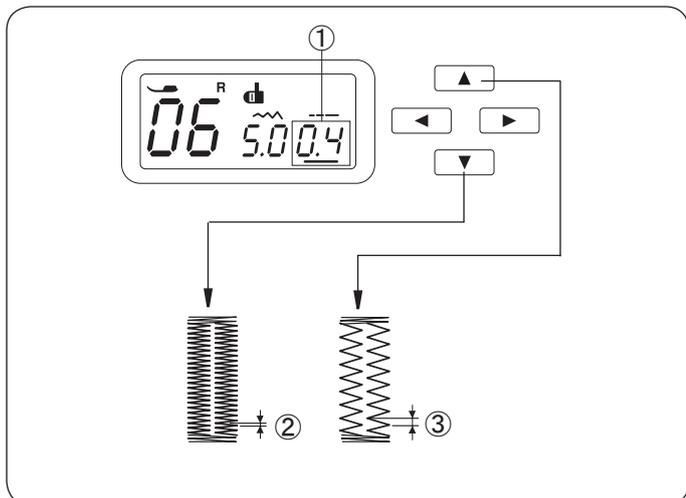
### 【ぬい目の幅をかえるとき】

◀▶ ボタンで、ぬい目の幅モードを選びます。  
初期値（購入時のセット状態）は 5.0 です。

▲ ▼ ボタン、◀▶ ボタンを押すと、ボタンホールの幅がcaえられます。

※ 2.5 ~ 7.0 のはんいで 0.5 ずつかえることができます。

- ① ぬい目の幅モード
- ② 幅（小）
- ③ 幅（大）



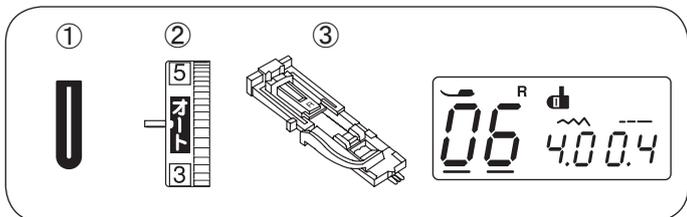
### 【ぬい目長さをかえるとき】

◀▶ ボタンで、ぬい目長さモードを選びます。  
初期値（購入時のセット状態）は 0.4 です。

▲ ▼ ボタン、◀▶ ボタンを押すと、ぬい目長さがcaえられます。

※ 0.3 ~ 0.8 のはんいで 0.1 ずつかえることができます。

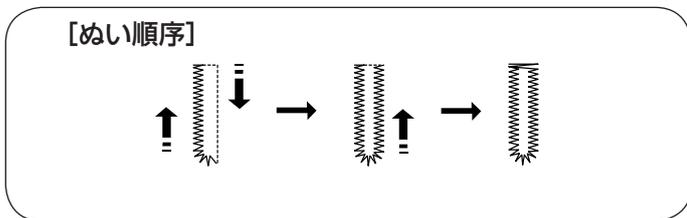
- ① ぬい目長さモード
- ② 長さ（短い）
- ③ 長さ（長い）



### ★ねむり穴ボタンホールのぬい

#### ミシンのセット

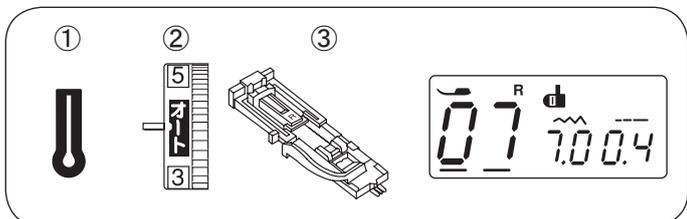
- ① 模様 No.: 06 (モデル 50 ステッチ)  
11 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: ボタンホール押え R



ぬい方は両かん止めボタンホールと同じです。  
(27 ~ 29 ページをごらんください。)

※ ぬい目の幅は 2.5 ~ 5.5 のはんいで 0.5 ずつかえることができます。

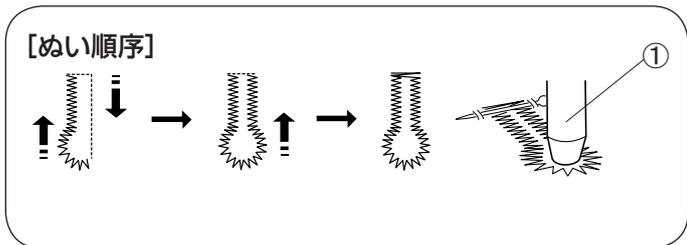
※ ぬい目長さは、0.2 ~ 0.8 のはんいで 0.1 ずつかえることができます。



### ★はと目ボタンホールのぬい

#### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 07 (モデル 50 ステッチ)  
12 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: ボタンホール押え R



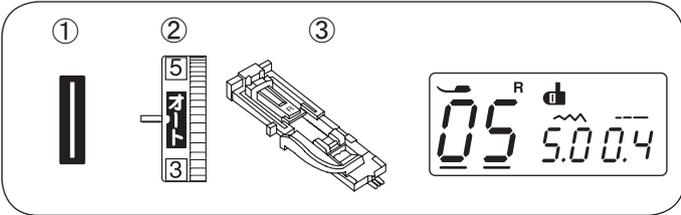
ぬい方は両かん止めボタンホールと同じです。  
(27 ~ 29 ページをごらんください。)

※ ぬい目の幅は 5.5 ~ 7.0 のはんいで 0.5 ずつかえることができます。

※ ぬい目長さは、0.3 ~ 0.8 のはんいで 0.1 ずつかえることができます。

※ はと目ボタンホールは、市販のポンチで穴を開けてからシームリッパーで切り開きます。

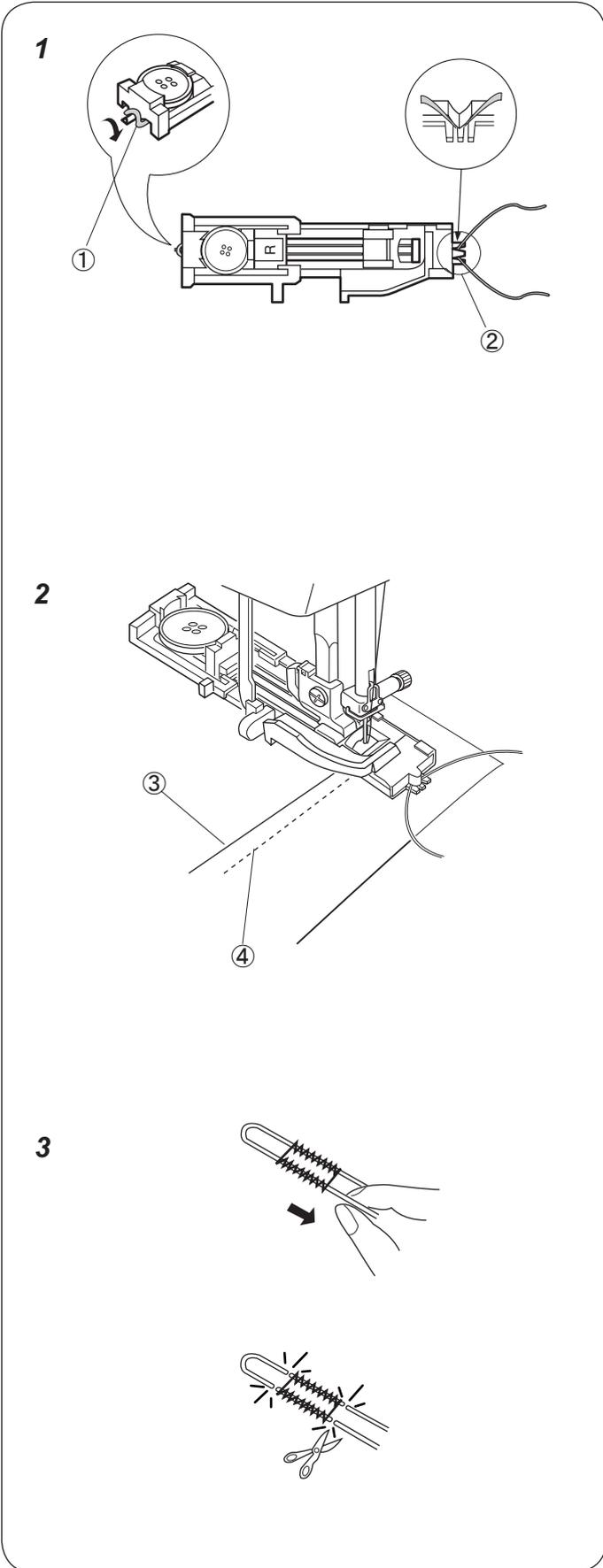
- ① ポンチ



## ★芯入り両かん止めボタンホールのぬい

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 05 (モデル 50 ステッチ)  
10 (モデル 20 ステッチ)  
② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4  
③ 押え: ボタンホール押え R



**1** 芯糸の中央部を押えのうしろ側にあるつのかかけ、押えの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。

- ① 芯糸  
② 三つ又

**2** 両かん止めボタンホールの手順と同じようにぬいます。(27 ~ 29 ページをごらんください。)

- ③ 上糸  
④ 下糸

**3** 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な糸を切ります。

※ ぬい目の幅は、芯糸の太さに合わせてセットします。

※ 穴の開け方は、29 ページをごらんください。

※ 左側の芯糸が引けない場合は、前後の芯糸を切ります。

## ●つくろいぬい (ダーニング)

(モデル 50 ステッチのみ)

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 08
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: ボタンホール押え R

※ 模様 No.08 は、模様地完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(針は上の位置で停止します。)

**1** ボタン受け台をいっぱい引き出し、上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出します。

① ボタン受け台

**2** ぬい始めの位置に針をさし、押え上げをさげます。

② ぬい始めの位置

**3** ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2cm の長さをぬうことができます。(幅は約 0.7cm)

2cm より短い長さでぬう場合は、下記【2cm より短い長さでぬう場合】をごらんください。

③ 約 2cm

④ 約 0.7cm

**4** 布の向きをかえてぬいます。

### 【2cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

⑤ 返しぬいボタン

⑥ 必要な長さ

⑦ ぬい始めの位置

※ ぬい終わると長さが記憶されていますので、2 個目から返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものをくり返しぬうことができます。

(別の模様が選ばれるまで記憶されています。)

### 【形の整え方】

◀▶ ボタンで、ぬい目長さモードを選びます。

初期値 (購入時のセット状態) は d5 です。

つくろいぬい (ダーニング) のぬい始め (左側) とぬい終わり (右側) の高さがそろわないときは、ぬい目長さモードにして調節します。

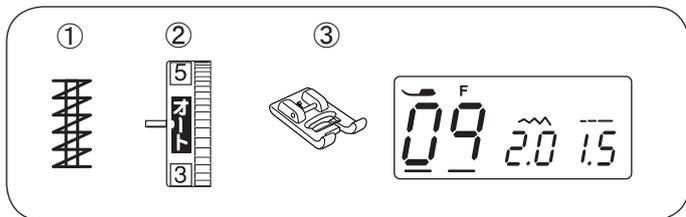
「d1」 ~ 「d9」 のはんいで調節できます。

初期値 (購入時のセット状態) は 「d5」 です。

・左側が低い場合 ▼ を押します。… 「d1」 ~ 「d4」

・右側が低い場合 ▲ を押します。… 「d6」 ~ 「d9」

⑧ ぬい目長さモード



## ●かんぬき止め

(モデル 50 ステッチのみ)

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 09
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: サテン押え F

ポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部分などを補強します。

※ 模様 No.09 は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。  
(針は上の位置で停止します。)

ぬい始めの上糸を横に引き出しておきます。

ぬい始めの位置に針をさし、押え上げをさげます。

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 1.5cm の長さのかんぬき止めをぬうことができます。  
1.5cm より短い長さでぬう場合は、下記【1.5cm より短い長さでぬう場合】をごらんください。

① 最大約 1.5cm

※ ぬい目の幅や長さは、ぬい目の幅モードとぬい目長さモードでかえることができます。  
(ぬい目の長さをかえると、自動でぬえる最大長さ「1.5cm」もかわります。)

### 【1.5cm より短い長さでぬう場合】

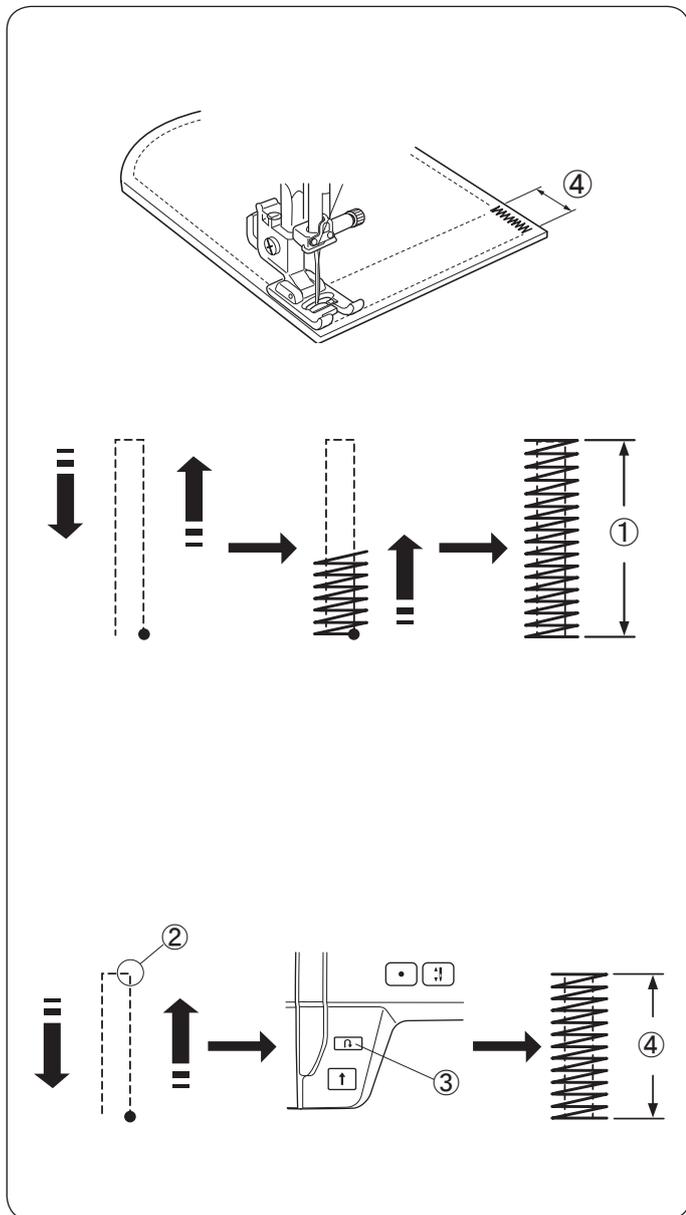
最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

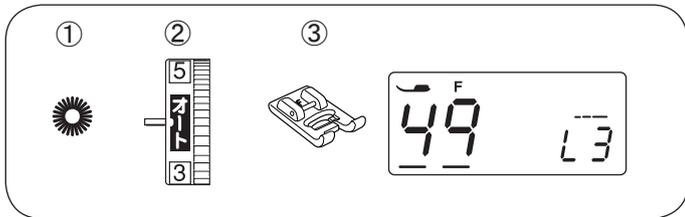
② 必要な長さの位置

③ 返しぬいボタン

④ 必要な長さ

※ ぬい終わると長さが記憶されていますので、2 個目から返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのかんぬき止めをくり返しぬうことができます。  
(別の模様が選ばれるまで記憶されています。)





## ●アイレット

(モデル 50 ステッチのみ)

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 49
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: サテン押え F

※ 模様 No.49 は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。  
(針は上の位置で停止します。)

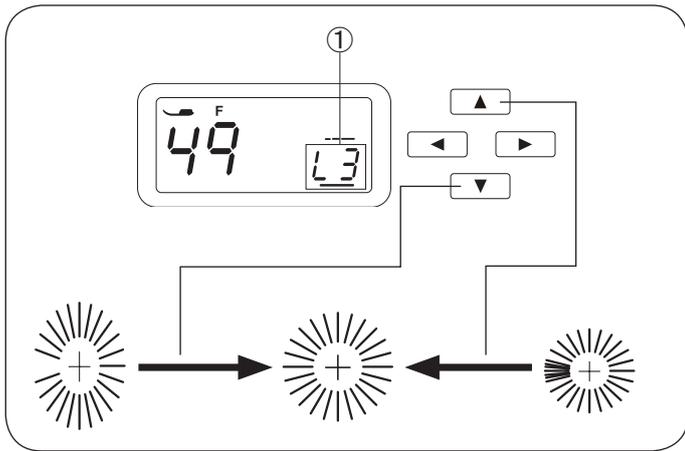
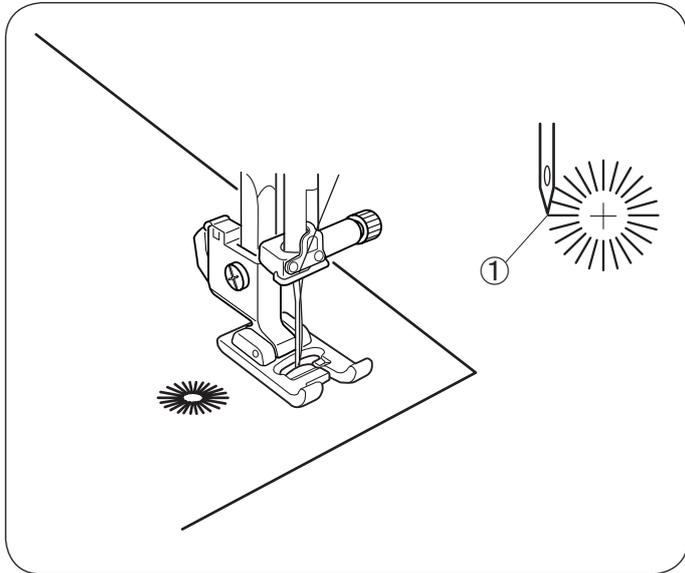
ぬい始めの上糸を横に引き出しておきます。

ぬい始めの位置に針をさし、押え上げを下げます。

① ぬい始めの位置

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ ぬい目の内側は、パンチ (市販品) などで穴を開けます。  
パンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のものをご使用ください。

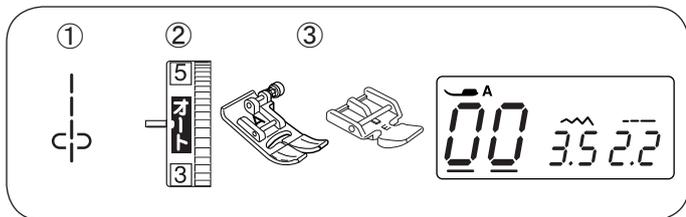


### 【形の整え方】

布などによってアイレットの形がくずれる場合は、 ボタンでぬい目長さモードにして調節します。

「L1」 ~ 「L5」 のはんいで調節できます。  
初期値 (購入時のセット状態) は「L3」です。

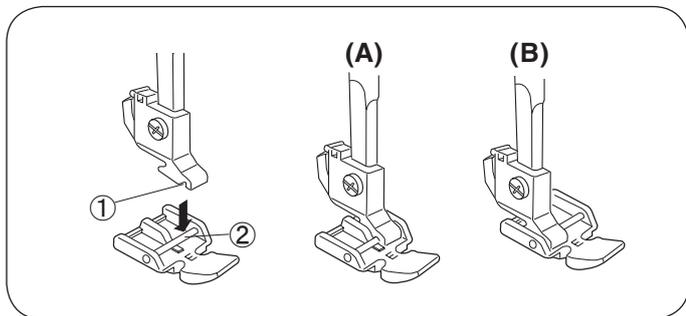
- ぬい目が重なる場合 ボタンを押します。  
… 「L4」 ~ 「L5」
- ぬい目にすきまがある場合 ボタンを押します。  
… 「L1」 ~ 「L2」



## ●ファスナー付け

### ミシンのセット

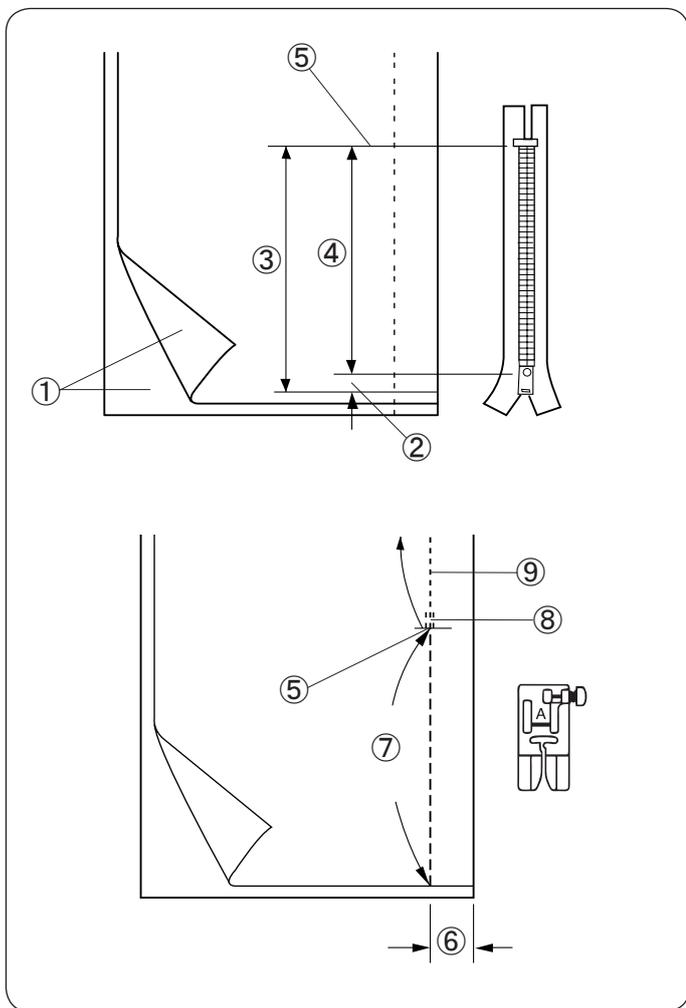
- ① 模様 No.: 00
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: 基本押え A、ファスナー押え E



### 【ファスナー押えの付け方】

- (A) ファスナーのむしの左側をぬうときは、ファスナー押えの右側のピンを押えホルダーにセットします。
- (B) ファスナーのむしの右側をぬうときは、ファスナー押えの左側のピンを押えホルダーにセットします。

- ① みぞ
- ② ピン



### 【準備】

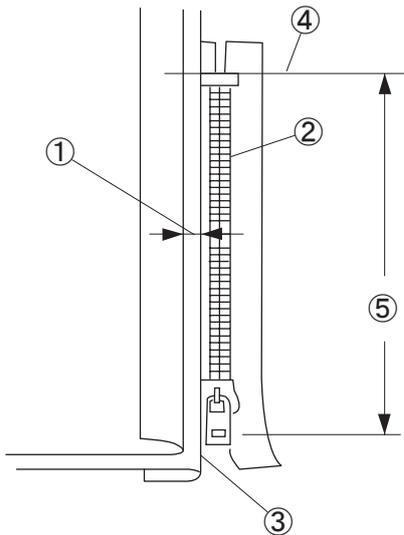
ファスナーのあき寸法を確かめます。  
あき寸法はファスナー寸法に 1cm プラスした寸法です。

しつけと地ぬいをします。  
布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。  
地ぬいの部分は、基本押え A を使ってぬいます。  
あき部分は、ぬい目長さ「5.0」でしつけぬいをします。

※ しつけは、ほどこきやすいように糸調子ダイヤルを「1」くらいにしてぬいます。  
しつけが終わったら、糸調子ダイヤルを「オート」にもどします。

- ① 布表
- ② 1cm
- ③ あき寸法
- ④ ファスナー寸法
- ⑤ あき止まり
- ⑥ ぬいしろ 2cm
- ⑦ あき部分 (しつけ)
- ⑧ 返しぬい
- ⑨ 地ぬい

1

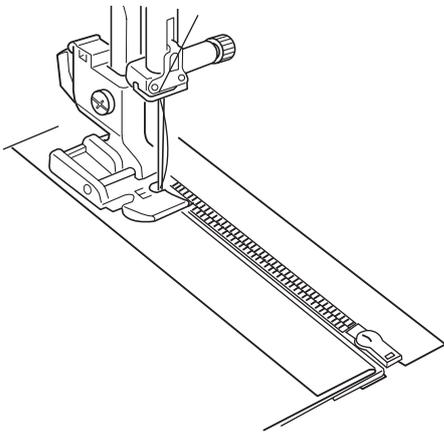


## 【ぬい】

1 ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを 0.3cm 出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

- ① 0.3cm
- ② むし
- ③ 折り山
- ④ あき止まり
- ⑤ あき寸法

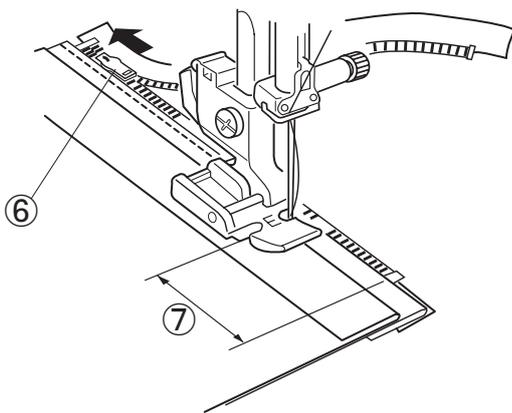
2



2 ファスナー押えの右側のピンを押えホルダーにセットし、むしのきわを押えの端（右側段部）にあて、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。

※ ぬい始めのほつれ止めは、数針返しぬいをします。

3

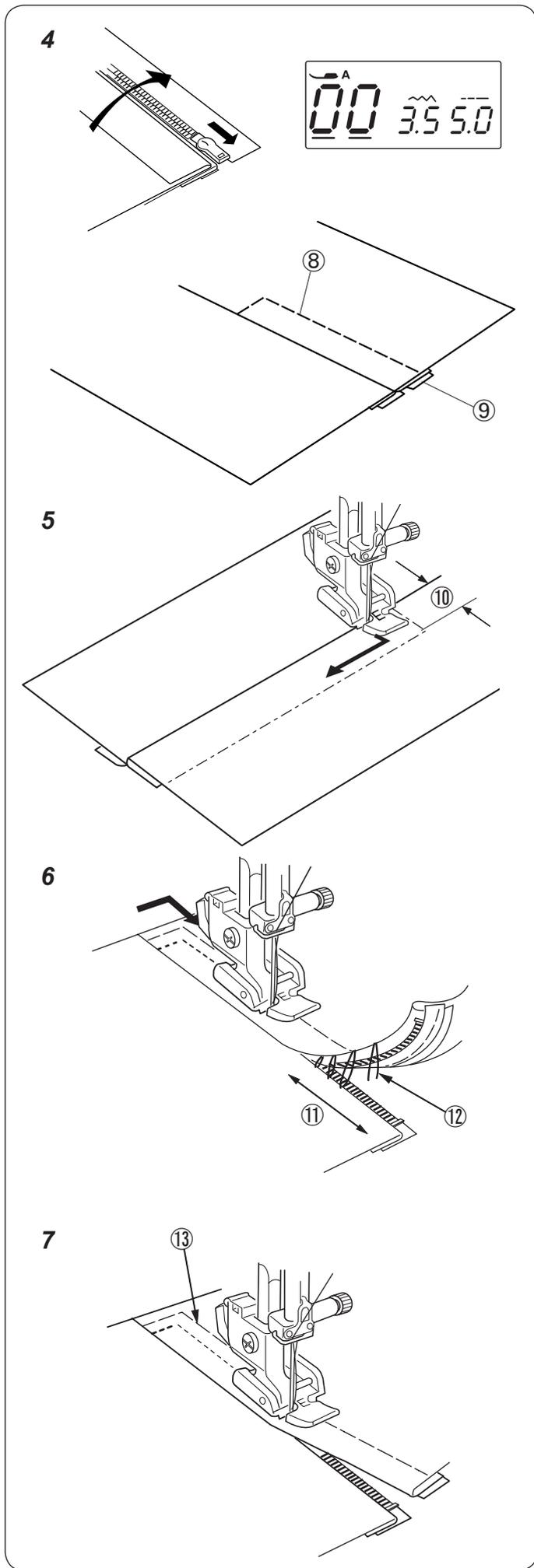


3 ファスナーの端から約 5cm ほど手前でミシンを止め、針を布にさします。

押え上げをあげてスライダーを向こう側にずらし、押え上げをさげて残りの部分をぬいます。

※ ぬい終わりのほつれ止めは、数針返しぬいをします。

- ⑥ スライダー
- ⑦ 約 5cm



**4** ファスナーを閉じ、スライダーを上になおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。  
かぶせた布と台布をしつけで止めます。

※ しつけは、基本押え A を使用します。  
しつけは、ほどこきやすいように、ぬい目長さを「5.0」、糸調子ダイヤルを「1」にしてぬいます。  
しつけが終わったら、糸調子ダイヤルを「オート」にもどします。

- ⑧ しつけ
- ⑨ 台布

**5** ファスナー押えの左側のピンを押えホルダーにセットします。  
上の布のあき止まりを 0.7 ~ 1.0cm ほど返しぬいをしてから、むしのきわを押えの端（左側段部）にあて、ファスナーの右側をぬいます。

- ⑩ あき止まりを 0.7 ~ 1.0cm ほど返しぬい

**6** ファスナーの上側を 5cm くらい残したところでミシンを止め、針をさげ、押え上げをあげて、  
【準備】でぬったしつけ糸をほどこき、スライダーを押えの向こう側にずらします。

- ⑪ 約 5cm
- ⑫ しつけ糸

**7** 押え上げをさげて残りの部分をぬいます。  
ぬい終わったら手順 **4** でぬったしつけ糸をほどこきます。

- ⑬ しつけ糸

## ●まつりぬい（ブラインドステッチ）

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 15 (モデル 50 ステッチ)  
14,15 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: まつりぬい押え G

※ 模様 No.15 (モデル 20 ステッチ) は、伸縮性のある布に使用します。

### 1 布を折ります。

- (1) 厚い布の場合  
(2) 薄い布、普通の布
- ① 布の裏  
② 0.4 ~ 0.7cm

### 2 折り山を押えのガイドに合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れないように、また必要以上に針が折り山にかかりすぎないように、針位置を調節してください。(下記参照)

- ③ 折り山  
④ ガイド

### 3 ぬい終わったら布を広げます。

### 【針位置の調節】

◀▶ ボタンで、ぬい目の幅モードを選びます。  
初期値 (購入時のセット状態) は 0.6 です。

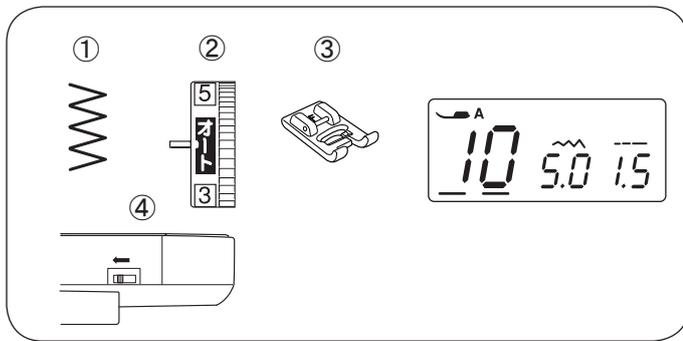
※ 模様 14、15 は、ぬい目の幅は変化せず模様 (針位置) が左右に移動します。

※ 表示 0.6 は、押えのガイドから左針位置 (折り山側の針位置) までの距離 (ミリメートル) の目安です。

- ① 左針位置  
② ガイド

(1) 針が折り山にかからない場合は、▲ ボタンを押して針位置を左に移動させます。

(2) 針が折り山にかかりすぎる場合は、▼ ボタンを押して針位置を右に移動させます。



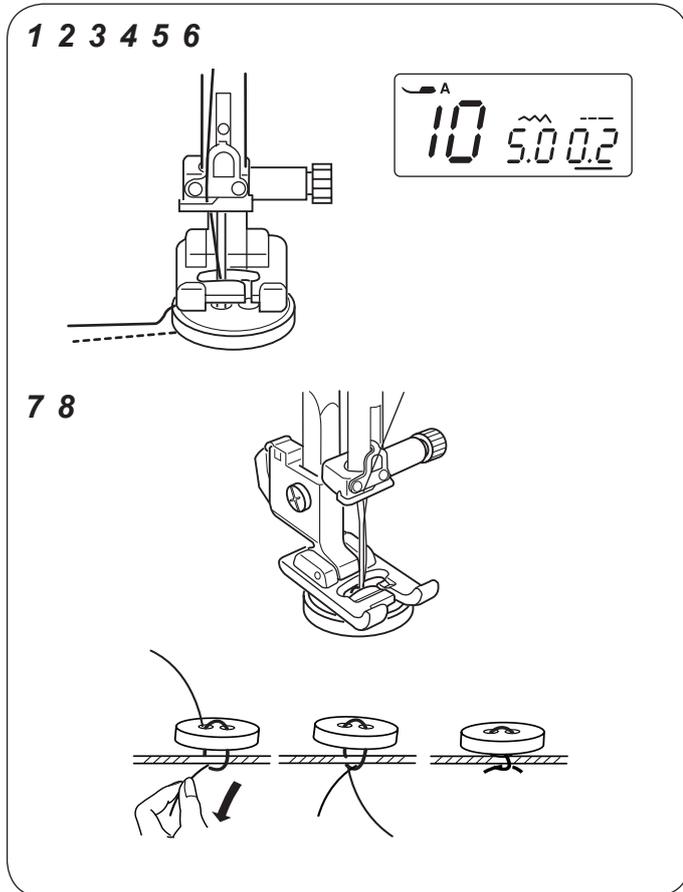
## ●ボタン付け

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 10 (モデル 50 ステッチ)  
07 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 7
- ③ 押え: サテン押え F
- ④ 送り歯ドロップつまみ: さげる位置にします。

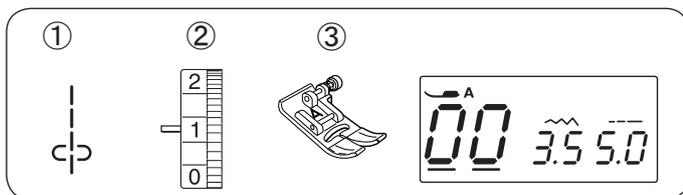
※ボタンの左右の間かくをはかり、ぬい目の幅をボタン穴の間かくに合わせます。

※ぬい目長さは、最小値「0.2」に設定します。



### 【ぬい】

- 1 送り歯ドロップつまみで送り歯を下げます。
- 2 ボタンの左右の穴が真横にくるように、押えの下に置きます。
- 3 押え上げを下げます。
- 4 はずみ車を手で手前にまわして針がボタンの左の穴に針をさします。  
※ ボタンが押えで固定されていることを確認します。不安定だとボタンがずれて針折れする危険があります。
- 5 はずみ車を手前にまわして針が左右の穴におりることを確かめます。
- 6 10 針くらいぬいたらミシンを止めます。  
※ ぬい始めの上糸と下糸は、はさみで切り取ってください。
- 7 押え上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10cm くらい残して切ります。
- 8 ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。  
※ ぬい終わったら送り歯ドロップつまみを送り歯をあげる位置にもどし、手ではずみ車を手前にまわして、送り歯があがることを確認してください。



## ●ギャザー

### ミシンのセット

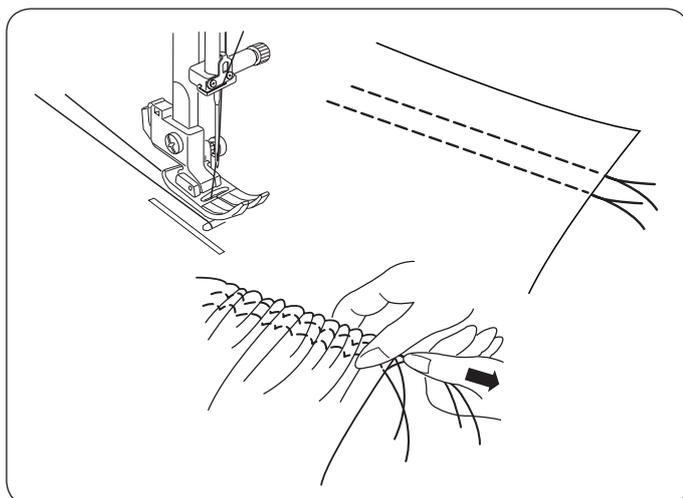
- ① 模様 No.: 00
- ② 糸調子ダイヤル: 1
- ③ 押え: 基本押え A

上糸と下糸を押えの下から向こう側に約 10cm ほど引き出しておきます。

糸調子を「1」にし、ぬい目長さ「4.0」～「5.0」の直線を 0.5～0.7cm の間かくで 2 本平行にぬいます。

ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を 2 本一緒に引いて、布を縮めます。

ぬい終わりの糸をそれぞれ結び、ギャザーを整えてからアイロンをかけます。



## ◎飾りぬい

### ●パッチワーク

#### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 00  
25 (モデル 50 ステッチ)  
17 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A, サテン押え F
- ※ その他模様 No.11,21,30,34 (モデル 50 ステッチ)  
模様 No.08,09 (モデル 20 ステッチ) などが使えます。

**1** 布を中表に合わせ、基本押え A で地ぬいをします。

① 布の裏

② 布の表

※ 地ぬいは、布端を針板の手前側ガイドライン 0.6cm (1/4 インチ) に合わせてぬいます。

**2** ぬいしろを割ります。

**3** サテン押えで布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

### ●シェルタック

#### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 16
- ② 糸調子ダイヤル: 6 ~ 8
- ③ 押え: サテン押え F

布をバイヤスに 2 つ折りにします。

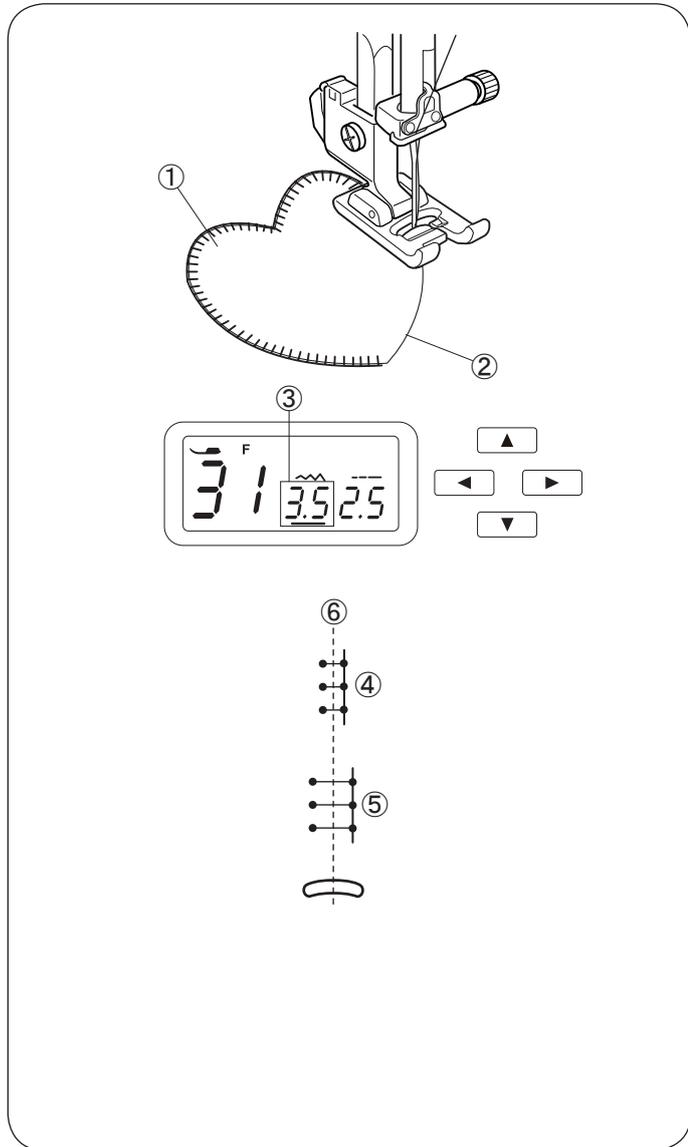
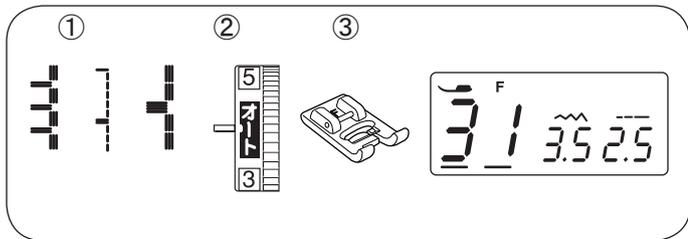
右側の針位置が布の折り山のきわ (外側) になるように布をガイドしてぬいます。

① 針

② 折り山

布を開き、アイロンで山を片側にたおします。

※ 糸調子は、試しぬいをしてシェルタックの山がきれいになるように調節してください。



## ●アップリケ

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 31 (モデル 50 ステッチ)  
18 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: サテン押え F
- ※ その他模様 No.1 1,32,33 (モデル 50 ステッチ) などが使えます。

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。模様の右側の針位置のときに、アップリケ布の縁の外側にささるようにぬいます。

- ① アップリケ布
- ② 縁

※ カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ布の外側に針がきた位置でミシンを止めます。針上下移動ボタンを押して針をさげ、針を布にさしたまま押え上げをあげて方向をかえるときれいに仕上がります。

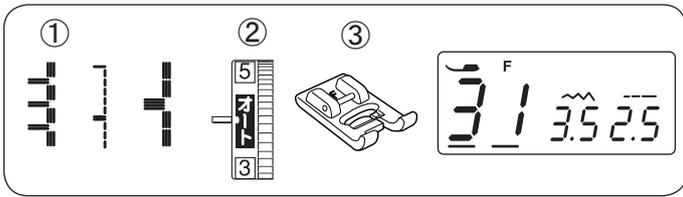
### 【ぬい目の幅をかえるとき】

ボタンで、ぬい目の幅モードを選びます。初期値（購入時のセット状態）は 3.5 です。

ボタンを押すと、中針位置を基準（固定）に左右に幅が小さくなります。

ボタンを押すと、中針位置を基準（固定）に左右に幅が大きくなります。

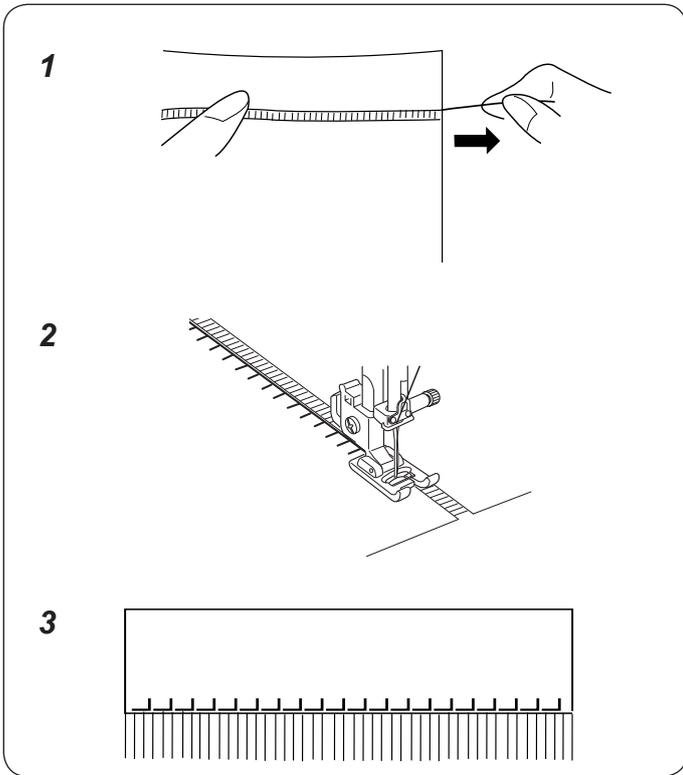
- ③ ぬい目の幅モード
- ④ 幅（小）
- ⑤ 幅（大）
- ⑥ 中針位置



## ●フリンジ

### ミシンのセット

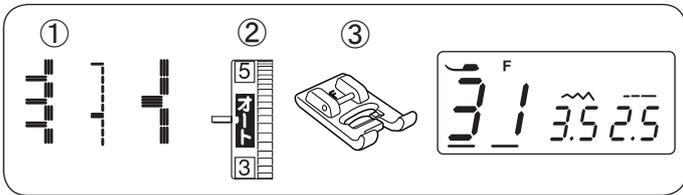
- ① 模様 No.: 31 (モデル 50 ステッチ)  
18 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: サテン押え F
- ※ その他模様 No.11,32,33 (モデル 50 ステッチ)  
などが使えます。



1 フリンジのたばになる部分の織り糸を 1 ~ 2 本抜き取ります。

2 織り糸を抜いた上をぬいます。

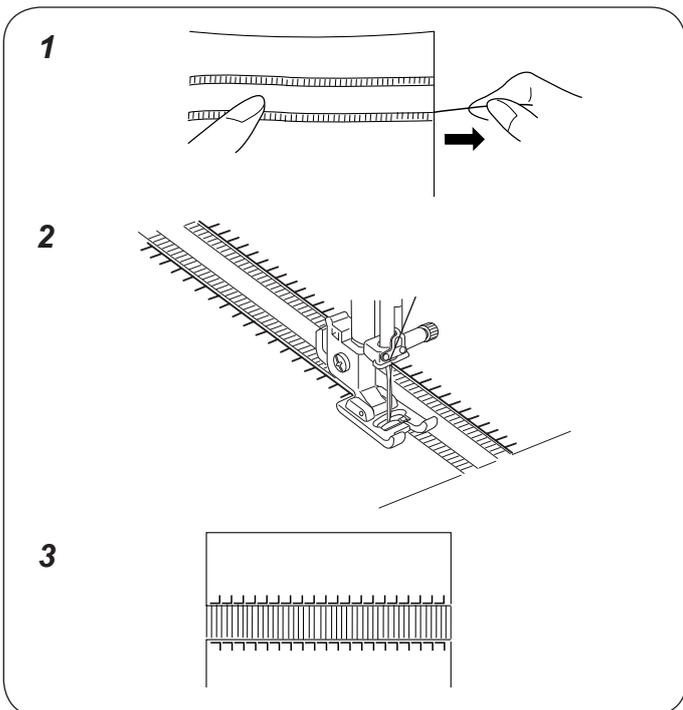
3 フリンジにする部分の織り糸を全部抜き、ふさを作ります。



## ●ドロンワーク

### ミシンのセット

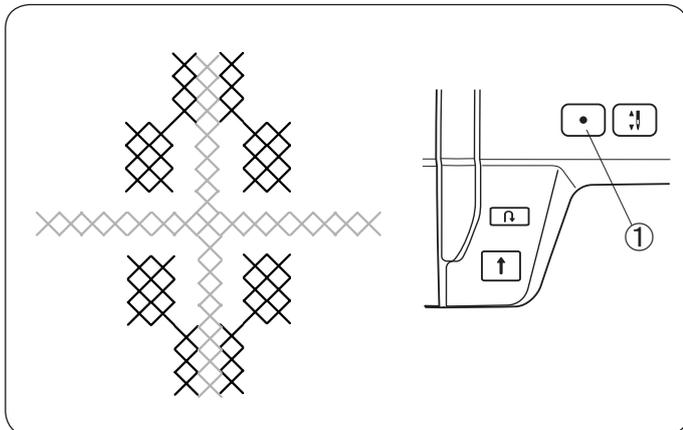
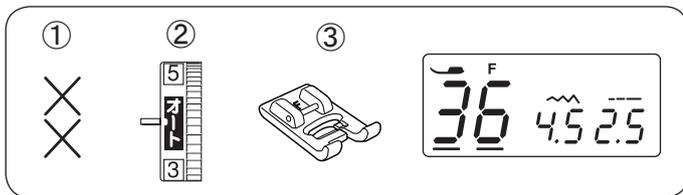
- ① 模様 No.: 31 (モデル 50 ステッチ)  
18 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: サテン押え F
- ※ その他模様 No.11,32,33 (モデル 50 ステッチ)  
などが使えます。



1 ドロンワークする部分の両わきの織り糸を 1 ~ 2 本抜き取ります。

2 織り糸を抜いた両わきをぬいます。

3 フリンジにする部分の織り糸を全部抜き、ふさを作ります。



## ●クロスステッチ (モデル 50 ステッチのみ)

### ミシンのセット

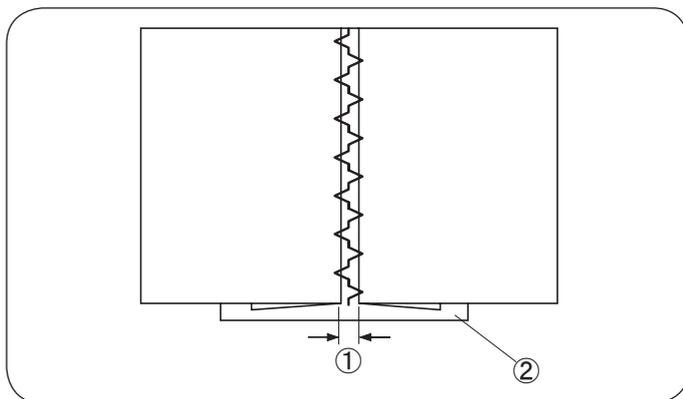
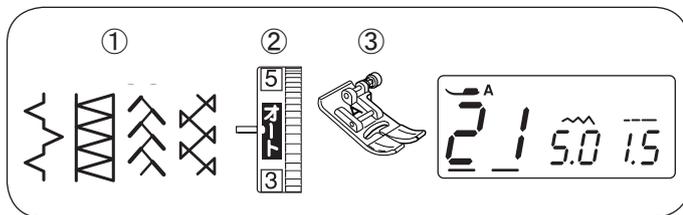
- ① 模様 No.: 36
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: サテン押え F

刺しゅうによく使われるクロスステッチができます。

図案の中を一定の方向にそろえてぬいます。

ぬい途中に止めぬいボタンを押すと、ボタンを押されたときの模様を完成させたあと、止めぬいをして自動的に止まるので、きれいに仕上がります。

- ① 止めぬいボタン



## ●ファゴティング

### ミシンのセット

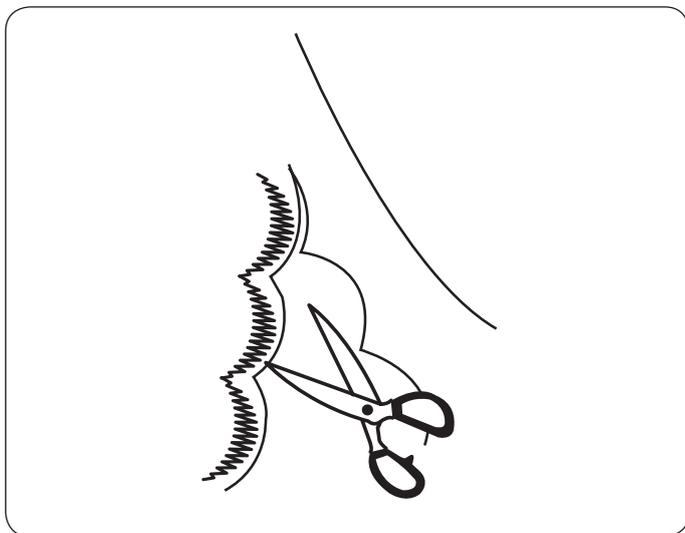
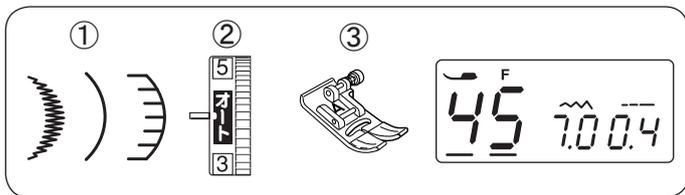
- ① 模様 No.: 21 (モデル 50 ステッチ)  
09 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: 基本押え A または サテン押え F
- ※ その他模様 No.24,25,34 (モデル 50 ステッチ) などが使えます。

布端と布端の間かくを 0.3 ~ 0.4cm あけて、下にあて紙をします。

- ① 間かく 0.3 ~ 0.4cm
- ② あて紙

布の表から間かくの中央を中心にしてぬいます。

あて紙を取ります。



## ●スカラップ

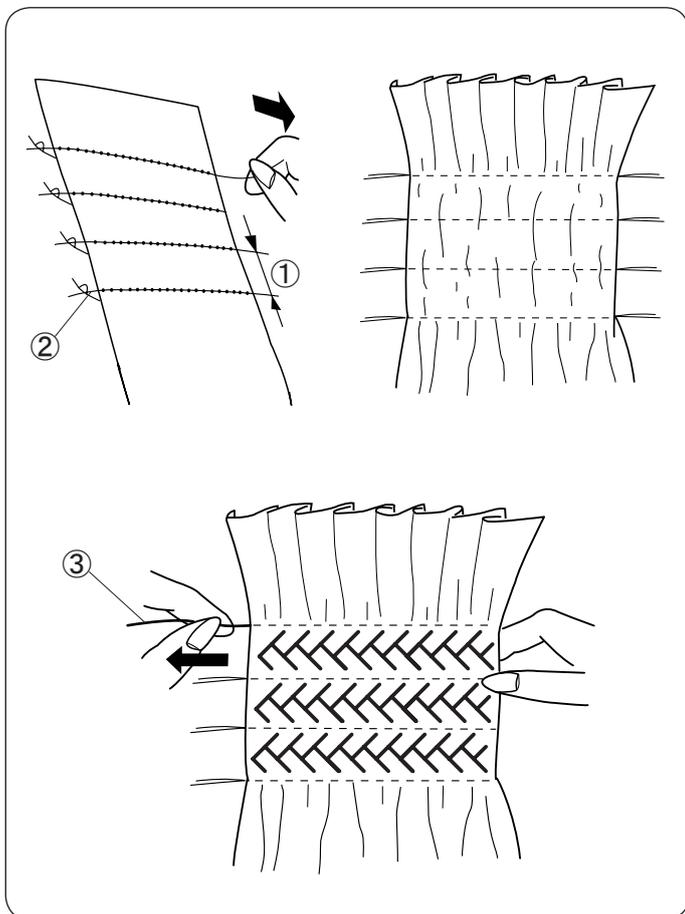
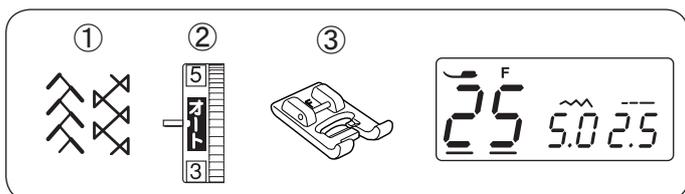
### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 45 (モデル 50 ステッチ)  
19 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: サテン押え F
- ※ その他模様 No.23 (モデル 50 ステッチ) などが使えます。

布の表から、布端を 1 cm くらい残してぬいます。

※ ぬい終わりの位置付近で、ぬい途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させてから止めぬいを行ってミシンは自動的に停止します。

糸を切らないように、外側の布を切り落とします。



## ●スモッキング

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 25 (モデル 50 ステッチ)  
17 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 3 ~ 6
- ③ 押え: サテン押え F
- ※ その他模様 No.26,27,28,29,37,34,35 (モデル 50 ステッチ) などが使えます。

上糸と下糸を押えの下から向こう側に約 10cm ほど引き出しておきます。

糸調子を「1」にし、ぬい目長さ「5.0」の直線を 1cm 間かくで数本平行にぬいます。

① 1cm 間かく

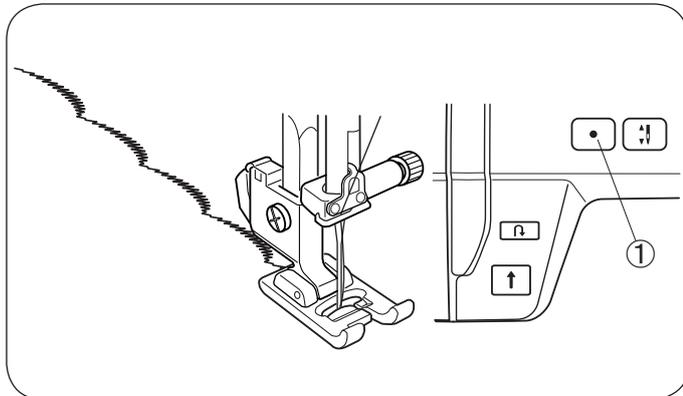
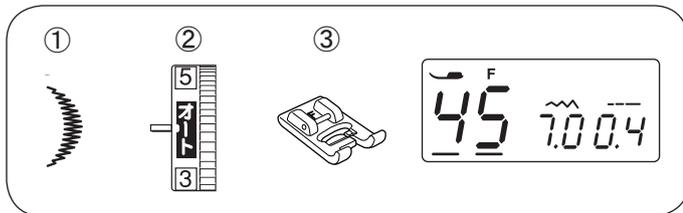
上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。

② 上糸と下糸を結び

糸調子を「オート」にもどし、模様を選んで直線ぬいと直線ぬいのあいだにぬいます。

模様をぬったあと、直線ぬいの糸を抜き取ります。

③ 直線ぬい糸



## ●密着模様ぬい（サテン）

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 45 (モデル 50 ステッチ)  
19 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: サテン押え F
- ※ その他模様 No.42 ~ 47 (モデル 50 ステッチ) 密着模様です。

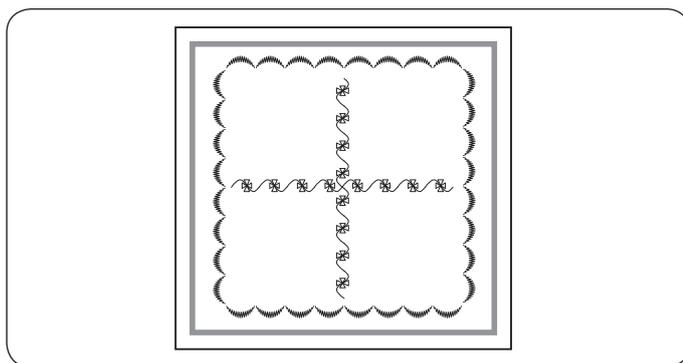
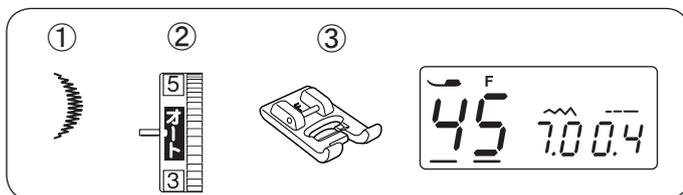
密着模様は、ぬい目長さが短い飾り模様です。

ぬい目長さ調節で、長さを短くすると、ぬい目がつまって布を送らなくなることがありますので、必ず試しぬいをして布送りの確認をしてください。

※ ぬい終わりの位置付近で、ぬい途中に止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させてから止めぬいを行ってミシンは自動的に停止します。

### ① 止めぬいボタン

※ 布が縮む場合は、裏に芯地を貼ってください。



## ●飾り模様

### ミシンのセット

- ① 模様 No.: 45 (モデル 50 ステッチ)  
19 (モデル 20 ステッチ)
- ② 糸調子ダイヤル: 1 ~ 4
- ③ 押え: サテン押え F
- ※ その他、お好みの模様をご使用ください。

テーブルクロスなどの飾りぬいとして使用します。ぬい目が曲がらないように、布をガイドしてぬってください。

## ●模様の形の整え方

布の種類などによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

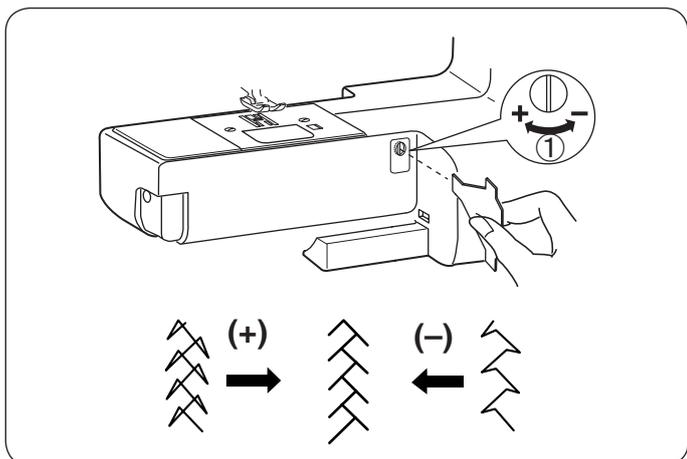
(補助テーブルを外します。)

① 送り調節ねじ

【例：模様  の場合】

・ 模様がつまっているとき  
…送り調節ねじを「+」の方向にまわします。

・ 模様が伸びているとき  
…送り調節ねじを「-」の方向にまわします。



## ◎ミシンのお手入れ

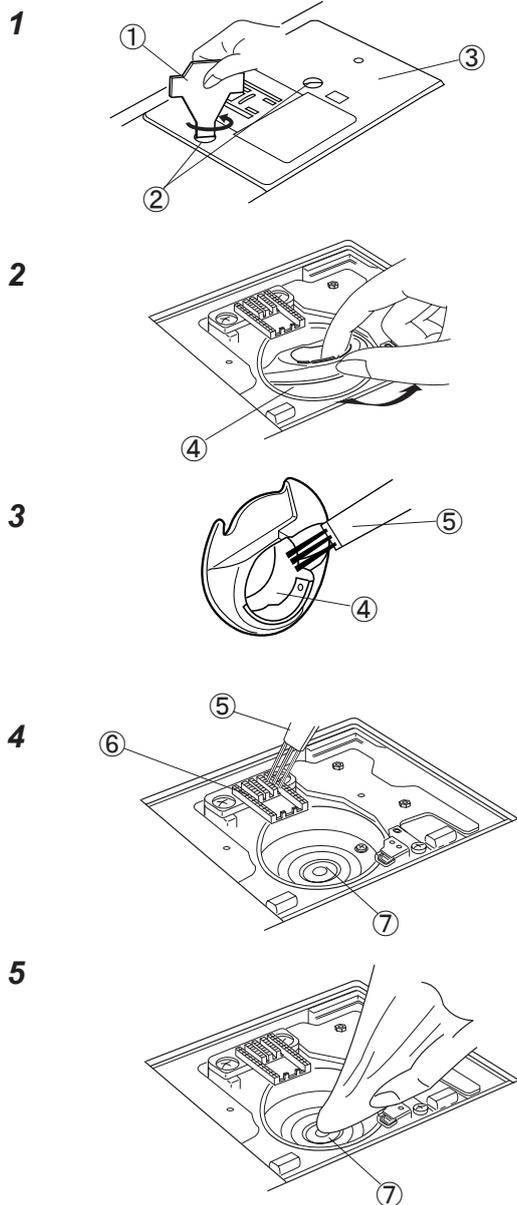
### ●かまと送り歯の掃除

#### ⚠ 注意

- ・ お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - ・ 説明されている場所以外は、分解しないでください。
- 感電・火災・けがの原因になります。

電源スイッチを入れ、針上下移動ボタンを押して、針を上にあげ、電源スイッチを切ります。

針と押えホルダーを外し、角板を外してボビンを取り出します。



**1** しめねじ 2 個をドライバーで外し、針板を外します。

- ① ドライバー
- ② しめねじ
- ③ 針板

**2** 内がまの手前を上へ引きながら外します。

- ④ 内がま

**3** 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布で軽くふきます。

- ⑤ ミシンブラシ

**4** 送り歯のごみをミシンブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。

- ⑥ 送り歯

**5** 外がまの中央部をやわらかい布で軽くふきます。

- ⑦ 外がま

※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

### ●内がまと針板の組み付け

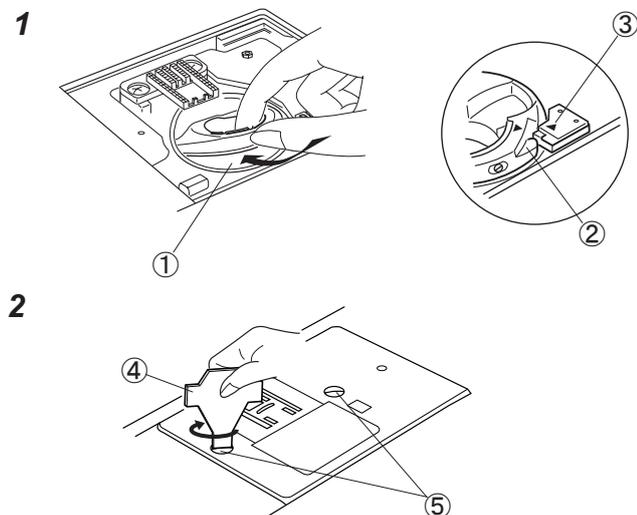
**1** 内がまの凸部を回転止めの左側におさめるようにして、内がまを取り付けます。

- ① 内がま
- ② 凸部
- ③ 回転止め

**2** しめねじ 2 個をドライバーで針板に取り付けます。

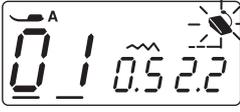
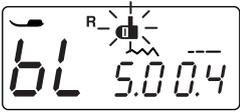
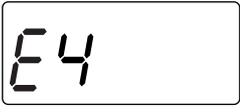
- ④ ドライバー
- ⑤ しめねじ

※ ボビン、角板、押え、針を取り付けます。



## ◎こんな表示が出た場合

### ●表示画面の対処方法

表示	原因	直し方
	フットコントローラーを接続した状態でスタート/ストップボタンを押したときに表示されます。 (フットコントローラー表示が点滅します。)	スタート/ストップボタンを使用する場合は、フットコントローラーの接続を外します。
	糸巻き軸を下糸巻き位置にセットしたときに表示される。	糸巻き軸をもとの位置にもどすと表示が消えます。
	ボタンホール切りかえレバーをさげないでボタンホールを少しぬうと表示される。 (模様 No. 表示が「bL」表示にかわり、ボタンホール切りかえレバー表示が 2～3 秒点滅します。)	ボタンホール切りかえレバーをさげて、再スタートします。
	安全装置の作動によりミシンモータが緊急停止したときに表示されます。	緊急停止後 15 秒間ミシンは動きません。糸がらみ等がある場合には、電源スイッチを切り、糸を取り除いてください。
(E1-E7) 	ミシンが正しく作動しなかった場合に表示されます。	電源スイッチを切り、糸がらみ等がないか確認します。直らない場合には、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●ブザー音の種類

ブザー音	内 容
ピッ	正しい操作をしたときの受付音です。
ピピピッ	不正な操作をしたときの禁止音です。
ピー	ミシン異常時の警告音です。
ピピピー	ボタンホールぬい完了等の終了音です。

# ◎ミシンの調子が悪いときの直し方

## ●原因と直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。</li> <li>2. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。</li> <li>4. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>5. ぬい始めに上糸と下糸を押えの下にそろえて引いていない。</li> <li>6. ぬい終わったとき布を手前に引いている。</li> <li>7. 針に対して糸が太すぎるか細すぎる。</li> </ol>	<p>13 ページ参照</p> <p>17、18 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p> <p>19 ページ参照</p> <p>19 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下糸の通し方がまちがっている。</li> <li>2. 内がまの中にごみがたまっている。</li> <li>3. ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。</li> <li>4. 下糸がゆるく巻かれている。</li> </ol>	<p>12 ページ参照</p> <p>47 ページ参照</p> <p>ボビンを交換する</p> <p>巻く速度を速くする</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>2. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。</li> <li>3. ぬい終わったとき布を手前に引いている。</li> <li>4. 布に対して針が細すぎる。</li> <li>5. 模様合った押えを使用していない。</li> </ol>	<p>9 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p> <p>19 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p> <p>押えを交換する</p>
ぬい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>2. 布に対して針と糸が合っていない。</li> <li>3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、市販のニット針を使っていない。</li> <li>4. 上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>5. 品質の悪い針を使用している。</li> </ol>	<p>9 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p> <p>13 ページ参照</p> <p>針を交換する</p>
ぬい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸調子が合っていない。</li> <li>2. 上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。</li> <li>3. 布に対して針が太すぎる。</li> </ol>	<p>17、18 ページ参照</p> <p>12、13 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p>
布送りがうまくいかない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 送り歯に糸くすがたまっている。</li> <li>2. ぬい目が細かすぎる。</li> <li>3. 送り歯があがっていない。</li> </ol>	<p>47 ページ参照</p> <p>ぬい目をあらくする</p> <p>9 ページ参照</p>
ぬい目に糸の輪ができる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸調子が弱すぎる。</li> <li>2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。</li> </ol>	<p>17、18 ページ参照</p> <p>9 ページ参照</p>
ボタンホールがうまくぬえない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボタンホール切りかえレバーをさげしていない。</li> <li>2. 伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。</li> </ol>	<p>28 ページ参照</p> <p>26 ページ参照</p>
ミシンが作動しない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源のつなぎ方がまちがっている。</li> <li>2. かまに糸やごみがたまっている。</li> <li>3. 糸巻き軸が下糸を巻いたあと、もとにもどっていない。(糸巻き状態になっている)</li> <li>4. フットコントローラーを接続したままでスタート/ストップボタンを押している。</li> </ol>	<p>4 ページ参照</p> <p>47 ページ参照</p> <p>11 ページ参照</p> <p>フットコントローラーを外す</p>
音が高い	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. かまの部分に糸くすが巻きこまれている。</li> <li>2. 送り歯にごみがたまっている。</li> </ol>	<p>47 ページ参照</p> <p>47 ページ参照</p>
模様がくずれる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 模様が正しく調整されていない。</li> </ol>	<p>46 ページ参照</p>

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題ありません。

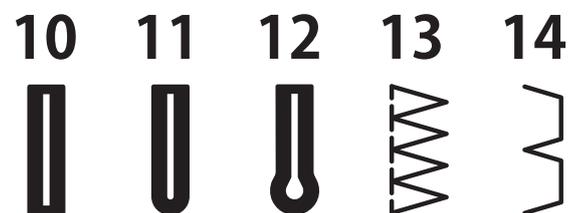
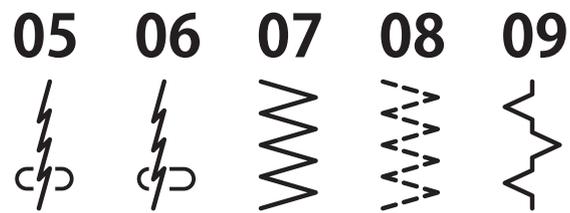
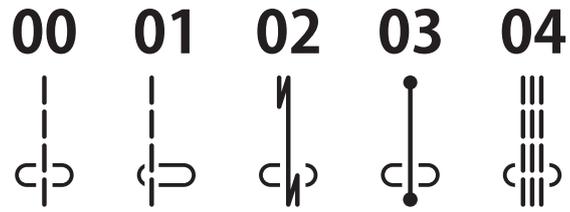
※ 長時間使うと操作ボタンや操作パネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

# 模様一覧表

モデル：50 ステッチ

00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49

モデル：20 ステッチ



## ◎別売品のご紹介

ホームソーイングをさらに楽しくします！  
お買い上げの販売店でお求めください。

### ●キルト押え（透明ジグザグタイプ）

フリーモーションキルトをするときに  
使います。  
ジグザグ模様でもぬうことができます。

### ●上送り押え

キルティングやベルベットなどのぬい  
ずれを防ぎます。

### ●棒定規

一定間隔のステッチが入れます。

### ●ワイドテーブル

大きなものをぬうときに便利です。

### ●フットコントローラー

フットコントローラーの踏みかげんで  
ぬう速さが調節できます。